

令和 2 年 度

**教育に関する事務の管理及び執行状況
の点検・評価に関する報告書
(令和元年度対象)**

令和 3 年 1 月

帯広市教育委員会

目 次

1	点検及び評価の基本的な考え方・・・・・・・・・・・・・・・・	1
	（1）趣旨・・・・・・・・・・・・・・・・	1
	（2）対象・・・・・・・・・・・・・・・・	1
	（3）方法・・・・・・・・・・・・・・・・	1
	（4）学識経験者の知見の活用・・・・・・・・	1
2	点検及び評価の結果・・・・・・・・・・・・・・・・	3
	（1）次代を担う人づくり・・・・・・・・	3
	（2）ともに学びきずなを育む地域づくり・・・・・・・・	11
	（3）基本目標を実現するための基盤づくり・・・・・・・・	15
3	教育に関する学識経験者の意見・・・・・・・・	25
	参考資料・・・・・・・・	27
	資料1 令和元年度教育委員会の活動状況・・・・・・・・	28
	資料2 令和元年度教育行政執行方針・・・・・・・・	32
	資料3 令和元年度予算決算・・・・・・・・	34
	資料4 令和元年度における主な取り組み一覧・・・・・・・・	36
	資料5 成果指標の推移・・・・・・・・	43
	資料6 課題及び今後の方向性に対する令和元年度の取り組み・・・	48

1 点検及び評価の基本的な考え方

(1) 趣旨

効果的な教育行政の推進をはかるとともに、市民への説明責任を果たすため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、教育の取り組みについて点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出し、あわせて市民に公表するものです。

(2) 対象

「第一期帯広市教育基本計画」の体系に従い、令和元年度に実施した取り組みを対象として、点検及び評価を実施しました。

なお、「帯広市教育基本計画」においては、福祉や子育てなど他の分野と幅広く協力しながら取り組みをすすめることとしていることから、教育委員会の取り組みに加え、関係部課等の取り組みについても、点検及び評価の対象としています。

(3) 方法

点検及び評価は、第六期帯広市総合計画の政策・施策評価と整合をはかりつつ、「第一期帯広市教育基本計画」の「個別目標」及び「基本方向」ごとに行いました。具体的には、成果指標の達成状況や令和元年度における主な取り組み内容などを踏まえながら、令和元年度における取り組みの成果と、課題及び今後の方向性の2つの観点から、点検及び評価を行いました。

(4) 学識経験者の知見の活用

学識経験者から点検及び評価に関する意見や助言をいただき、教育委員会が点検及び評価を行うに当たって客観性を確保するとともに、今後の取り組みに活用していきます。

参考1 地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抜粋)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

図1 第一期帯広市教育基本計画体系図

基本目標	個別目標	展開方策
1 次代を担う人づくり	1-1 知識・技能の習得	(1) 子どもの学力・学習意欲を高める教育の推進 (2) 個人や社会のニーズに応じた学習活動の推進 (3) 職業に関する教育・学習活動の推進 (4) 高度情報化に対応した教育・学習活動の推進
	1-2 豊かな心の育成	(1) 子どもの社会性の育成 (2) 豊かな情操の育成と生きがいづくり
	1-3 健やかな体づくり	(1) 健やかな体を育むスポーツ活動等の推進 (2) 食育の推進と学校給食の充実
	1-4 人間を尊重し自然と共生する人づくり	(1) 人権・福祉・男女共同参画に関する教育・学習活動の推進 (2) グローバル化に対応した教育・学習活動の推進 (3) 環境に関する教育・学習活動の推進
2 とともに学びきずなを育む地域づくり	2-1 ふるさとの理解の促進	(1) 子どものふるさと教育の推進 (2) 地域に関する学習活動の推進
	2-2 きずなづくり・まちづくり	(1) まちづくりへの参画を促進する教育・学習活動の推進 (2) にぎわいや交流を促進する文化・スポーツの振興

	基本方向	展開方策
基本目標を実現するための基盤づくり	1 学校・家庭・地域の連携	(1) 開かれた学校づくり (2) 家庭教育への支援 (3) 家庭や地域による教育支援の推進
	2 教育を支える人材の育成	(1) 教員の人間力・指導力の向上 (2) 地域の人材の発掘・育成・活用
	3 教育環境の充実	(1) 学校教育の環境整備 (2) 社会教育の環境整備 (3) 保育・体験活動の環境整備
	4 教育機会の確保	(1) 就学・進学への支援 (2) 健やかな発達への支援
	5 よりよい教育のためのしくみづくり	(1) 魅力ある学校づくりの推進 (2) 学校教育のしくみの工夫改善 (3) 社会教育施設の利用の促進 (4) 地域の実情に応じた教育行政の推進

2 点検及び評価の結果

(1) 次代を担う人づくり

個別目標1－1	知識・技能の習得
市民が生涯にわたり自己を高めるとともに、時代の変化に適応し、自立して生きることができるよう、必要な知識・技能を習得することができる教育・学習活動をすすめます。	

○ 点検及び評価の結果

項 目	内 容
取り組みの成果	(1) 「子どもの学力・学習意欲を高める教育の推進」については、CRT 標準学力検査等で課題を明確にし、授業改善資料として紀要「帯広の子どもの学力」を活用した^{しつぱい}研修を行った結果、標準学力検査の目標基準到達観点数は目標値を達成しました。 (2) 「個人や社会のニーズに応じた学習活動の推進」については、コミュニティ講座や高齢者学級において、新型コロナウイルス感染症拡大防止による事業中止もあり、講座等の参加者数は前年度より減少はしましたが、目標値を上回りました。 (3) 「職業に関する教育・学習活動の推進」については、小中学校において、将来を見据えたキャリア教育の充実をすすめています。帯広南商業高等学校では、模擬面接などの進路指導、挨拶運動などの生活指導や即戦力となる人材育成に努め、企業との緊密な連携を継続してすすめてきた結果、就職率 100%を達成しています。 (4) 「高度情報化に対応した教育・学習活動の推進」については、プログラミング教材の活用や安全な SNS の活用についての知識習得をすすめました。
課題及び今後の方向性	(1) 「子どもの学力・学習意欲を高める教育の推進」については、今後も学力の一層の定着を図るため、個々に応じた学習指導、ICT を活用した授業改善、教職員への学力向上研修講座の開催のほか、学校、家庭、地域が一体となり、学習習慣や生活習慣の改善をすすめます。 (2) 「個人や社会のニーズに応じた学習活動の推進」については、講座内容の見直しや新規講座の実施のほか、広範な情報発信を行い、新規受講者の確保に取り組みます。 (3) 「職業に関する教育・学習活動の推進」については、小中学校において、キャリア教育の充実をはかるよう、引き続き、指導・助言していきます。また、帯広南商業高等学校では、検定の3 種目以上 1 級取得率が目標値を下回りました。引き続き、講習や補習を実施していくほか、検定合格者の状況を掲示し、資格取得への高い意識付けをはかるよう取り組みます。 (4) 「高度情報化に対応した教育・学習活動の推進」については、関係機関と連携し SNS の正しい使用やインターネットの安全利用に関する啓発活動に取り組みます。

○ 参考１：成果指標の状況

指 標 名	H19 基準値	R1 実績値
		R1 目標値
標準学力検査の目標基準到達観点数（観点）	26	42
		42
帯広市教育委員会が開催する講座等の参加者数（人）	22,590	36,062
		23,000
帯広南商業高等学校の就職率（％）	100.0	100.0
		100.0
帯広南商業高等学校における検定の３種目以上１級取得率（％）	46.7	65.3
		75.0

○ 参考２：主な取り組みの内容

◆ 生涯学習推進委員会

生涯学習推進委員会は、帯広市内 26 小学校区ごとに設置され、「コミュニティ講座」を通して学習・交流の機会を提供しています。会の運営は市民のボランティアで行われ、令和元年度は他団体との協力事業を含めて 225 講座、計 23,058 名の参加がありました。

『地域から発想する生涯学習』を合言葉に、ふれあいのある住みよい地域社会づくりを目指しています。



バス学習の様子

◆ 帯広南商業高等学校におけるキャリア教育の推進

帯広南商業高等学校では、即戦力となる人材を育成するため、１年生の段階から、本校卒業生から就労・就学体験を聞く「先輩訪問」や外部講師によるビジネス基礎講座を実施し、進路実現への意欲を高めるとともに、今何をするべきか、を考える機会としています。

２年生は、令和元年度 52 職場でインターンシップを行い、キャリア形成に役立てています。それに先がけ、教員は市内の企業と調整を重ねて準備をすすめるほか、外部講師によるマナー講演会を開き、インターンシップ当日に備えています。

３年生は、５月に面接の基本指導、８月に卒業生から助言を得る先輩訪問、９月に模擬面接指導を行い、就職試験の解禁に備え準備を行っています。



３年生の先輩訪問の様子

個別目標1－2	豊かな心の育成
子どもたちが、他の人々と協調しながら、自らを律し、社会においてよりよく生きる力を身につけるとともに、市民が生涯にわたりゆとりやうるおいを実感して生活することができるよう、豊かな心の育成に取り組みます。	

○ 点検及び評価の結果

項 目	内 容
取り組みの成果	(1)「子どもの社会性の育成」については、小中学校にこころの教室相談員やスクールソーシャルワーカー、帯広南商業高等学校にスクールカウンセラーを配置し、児童生徒の悩み等へのきめ細かい相談体制の確保に努めました。また、いじめや非行の未然防止と早期解決のため、関係機関と連携をはかり、各種教員研修や「帯広市小中学生いじめ・非行防止サミット」等を開催したほか、「帯広市児童生徒のいじめ・非行防止5つの誓い」のクリアファイルを配布し、児童生徒の意識啓発を行いました。子どもの居場所づくり事業においては、異学年・異世代交流、多様な体験活動を通して、豊かな人間性や社会性の涵養に取り組みしました。 (2)「豊かな情操の育成と生きがいづくり」については、小中学校において学校図書ボランティア等が行っている、読み聞かせや朝読書などの取り組みにより、学校図書館の児童生徒1人当たり貸出冊数は、小中学校ともに目標値を上回りました。また、市民芸術祭や市民オペラ公演など、市民主体の芸術・文化活動の支援のほか、各文化施設における良質な芸術・文化に触れる鑑賞機会の提供など、身近に芸術・文化に親しめる環境づくりに取り組みました。
課題及び今後の方向性	(1)「子どもの社会性の育成」については、家庭や児童生徒の心の内面の複雑化、原因の多様化により、小中学校の不登校児童生徒が学校復帰まで至らないケースが多かったことから、不登校生徒の復帰率は目標値を下回りました。引き続き、教育相談員の専門性の向上をはかるための研修、個々に応じた教育相談体制や保護者への相談体制の充実に努めるとともに、より有効に教育相談員の活用をはかるため、配置日数の調整等の工夫をすすめます。子どもの居場所づくり事業は、運営の大部分を担うボランティアスタッフやコーディネーターの不足により、実施回数を増やすことができず、また、新型コロナウイルスの影響による小学校の臨時休業に伴う中止などにより、参加児童数は目標値を下回りました。引き続き、活動内容の効果的な周知に努めるとともに、学校と地域の連携を強化し、魅力ある企画講座を実施します。 (2)「豊かな情操の育成と生きがいづくり」については、小中学校の学校図書館において、魅力ある蔵書整備はもとより、運営に係る担い手の確保や専門性の向上をはかるなど、より活用しやすい学校図書館づくりに努めます。鑑賞事業の入場者数は、新型コロナウイルス感染症拡大防止による事業中止もあり、目標値を下回りました。市民協働による鑑賞機会の提供に向けた仕組みづくりを検討し、芸術・文化に関する情報発信に努めます。

○ 参考１：成果指標の状況

指 標 名	H19 基準値	R1 実績値
		R1 目標値
不登校生徒の復帰率（％）	30.8	26.8
		65.0
子どもの居場所づくり参加児童数（人）	7,575	21,223
		31,100
小学校図書館の児童１人当たり貸出冊数（冊）	9.1	15.2
		11.8
中学校図書館の生徒１人当たり貸出冊数（冊）	1.6	3.2
		2.4
鑑賞事業の入場者数（人）	34,098	27,485
		38,000

※貸出冊数は年間の冊数

○ 参考２：主な取り組みの内容

◆ 子どもの居場所づくり事業の実施

全小学校において、放課後や週休日等に特別教室・体育館などを利用して、工作や軽運動、料理教室等の体験活動や自由遊びを行う放課後子ども広場を実施しています。

地域の大人やNPO法人などのボランティアスタッフが企画運営を行い、令和元年度は684回実施し、異学年・異世代交流、多様な体験活動を通して、児童は豊かな人間性や社会性を育てています。

また、同事業に参加するボランティアスタッフや市民に対し、子どもの接し方や指導技術の向上をはかるとともに、新規人材確保のため、年１回ボランティア養成講座を開催しています。



放課後子ども広場の様子
(書初め教室)

◆ 市民オペラ公演への支援

文化団体等が行う自主的な活動を支援し、市民の主体的な文化芸術活動を促進する取り組みを行っています。

令和元年度は、第6回帯広市民オペラ公演「カルメン」が開催され、ソリストをはじめとする出演者、オーケストラのほか、企画、運営などに多くの文化団体や市民が参加しました。

多くの市民の協働により創り上げられた舞台を、2日間の上演で、2,077 人の方に鑑賞いただきました。



カーテンコールの様子

個別目標1-3	健やかな体づくり
市民が生涯にわたり心身ともに健やかな生活を送ることができるよう、健やかな体づくりに取り組みます。	

○ 点検及び評価の結果

項 目	内 容
取り組みの成果	(1)「健やかな体を育むスポーツ活動等の推進」については、明台北海道十勝オーバルでのスピードスケート大会、フードバレーとかちマラソン大会をはじめ各種大会やスポーツ教室を開催するなど、スポーツに触れ、楽しむことができる機会を提供したほか、指定管理者と連携し講習会の内容の充実にも努めた結果、スポーツ大会、スポーツ教室・講習会の参加者数は前年に比べ9,198人増加し目標値を上回りました。児童のむし歯予防を目的とした学校におけるフッ化物洗口の取り組みについては、前年度に引き続き帯広小学校と豊成小学校で実施したほか、啓西小学校及び広野小学校において、新規実施に向けた保護者説明会を行うなど、児童の歯・口腔の健康づくりの推進に努めました。 (2)「食育の推進と学校給食の充実」については、小中学校において食に関する教育指導計画を作成しているほか、食育推進部会による食育講演会の開催や啓発資料「帯広らしい食育プログラム」及び「食育レシピ集」の作成、栄養教諭及び食育指導専門員による全小中学校での食育出前授業や給食指導の実施など、食に関する知識と望ましい食習慣の習得に向け、生涯にわたって健全な心身を培うための基礎となる食育を推進しました。学校給食においては、関係部署、地元の農協や生産者との連携により、年間を通して安定的に使用できる地場産冷凍野菜や野菜貯蔵庫を所有している地元生産者などから、冷凍人参、玉葱、キャベツ、レタス等を購入し、地場産野菜の導入に努めました。また、給食費については、食材価格の高騰や給食提供日数の増加に対応し、食育などの学校給食のもつ役割を十分に果たしていくほか、円滑に必要な食材の調達ができるよう、給食費の改定を行いました。
課題及び今後の方向性	(1)「健やかな体を育むスポーツ活動等の推進」については、総合型地域スポーツクラブ設置数は、新たに2つのクラブが設立されましたが、目標値を下回りました。今後も、より多くの市民がスポーツに親しみ、楽しむことのできる機会づくりに努めます。フッ化物洗口の取り組みについては、実施校の拡大に向けて、引き続き、効果と安全性について児童や保護者、学校に周知していくとともに、効率的な実施方法や体制を検討します。 (2)「食育の推進と学校給食の充実」については、栄養教諭と食育指導専門員の連携を強化し、互いの授業改善に努めるとともに、啓発資料を活用しながら、児童生徒への食に関する指導の一層の充実をはかります。学校給食における地場産野菜の導入率は、地元の農協や地元生産者からの直接購入などにより、向上に努めたものの、端境期に調達可能な生産物の確保ができなかったことから、前年に比べ1.7%減少となり目標値を下回りました。引き続き、地場産野菜の導入に向けて、地元生産者と協議をすすめます。また、今後の給食費については、北海道の食料の消費者物価指数を参考にし、給食費改定の是非について検討を行っていきます。

○ 参考１：成果指標の状況

指 標 名	H19 基準値	R1 実績値
		R1 目標値
スポーツ大会、スポーツ教室・講習会の参加者数（人）	35,677	108,528
		87,000
総合型地域スポーツクラブの設置数（か所）	2	6
		8
学校給食における地場産野菜の導入率（％）	55.7	61.8
		70.0

○ 参考２：主な取り組みの内容

◆ スポーツ教室・講習会の開催

北海道との共催により開催したスポーツチャレンジ教室は、スポーツの楽しさや魅力を伝え、スポーツに対する興味関心や積極的な参加の機運を高めることを目的としています。

小学４～６年生を対象とした水泳教室では、オリンピックを講師に招き、参加した児童らは、クロールや背泳ぎなどの体の細かな動きの指導に熱心に耳を傾け、講師のダイナミックな泳ぎを食い入るように見つめていました。

教室終了後には、保護者と講師が懇談し、スポーツを通じた子供との接し方やケガの予防、食事の大切さなどについて、意見交換が行われました。



水泳教室の様子

◆ 食育の推進

学校教育指導課では、子どもたちが食に関する理解と適切な判断力を養い、正しい食習慣を身に付けるため、学校給食センターと連携し、栄養教諭及び食育指導専門員が学校を訪問し、食育についての指導を行っています。

食育推進部会では、講演会の開催や啓発資料「帯広らしい食育プログラム」や「食育レシピ集」の作成など、児童生徒をはじめ教職員や保護者の食育への関心を高めています。



食育指導の様子

個別目標1-4	人間を尊重し自然と共生する人づくり
誰もが人間として尊重され、共生することができる社会づくりや、人と自然が共生する持続可能な社会づくりに資するため、市民が必要な知識などを習得することができる教育・学習活動をすすめます。	

○ 点検及び評価の結果

項 目	内 容
取り組みの成果	(1)「人権・福祉・男女共同参画に関する教育・学習活動の推進」については、認知症サポーター養成講座や大正ふれあいまつりにおける周知啓発など、庁内外と連携した取り組みにより、ユニバーサルデザイン（UD）に関する講座等への参加者数は目標値を上回りました。また、男女平等の意識啓発に向けたセミナーや講座の開催のほか、情報誌を発行しました。そのほか、障害のある人が日常生活で感じている社会的障壁の解消に向けた取り組みとして、援助や配慮を知らせるためのヘルプマークを配布し、障害者理解の促進に努めました。 (2)「グローバル化に対応した教育・学習活動の推進」については、小学校外国語活動及び外国語科、中学校外国語科の指導の充実をはかるため、外国語指導講師を全小中学校に派遣し、児童生徒の確かな学力向上に努めました。帯広南商業高等学校では、専任の英語指導助手の配置や姉妹都市への生徒派遣により、生きた英語に触れる機会を提供し、コミュニケーション能力の向上と国際理解を深めました。 (3)「環境に関する教育・学習活動の推進」については、地球温暖化や世界の環境問題等をテーマに出前講座を実施したほか、環境にやさしい活動実践校の取組促進に向けて、「帯広らしい環境教育プログラム集」の発行と配布を行いました。
課題及び今後の方向性	(1)「人権・福祉・男女共同参画に関する教育・学習活動の推進」のうち、UDの考え方は、広く普及してきていますが、誰もが暮らしやすい地域づくりをすすめるため、引き続き、様々な機会を通じて市民の意識の向上に取り組みます。また、男女共同参画については、固定的な性別役割分担意識の解消のためセミナーや講座を開催するなど、男女平等意識の浸透・定着をはかります。そのほか、差別に関する相談を通じて、当事者間の争いの防止や解決をはかるなど、様々な障害や障害のある人への理解の促進に取り組みます。 (2)「グローバル化に対応した教育・学習活動の推進」については、新学習指導要領に対応した指導のあり方を考え、実践していくために、外国語指導講師の効果的な派遣体制や指導の充実をすすめます。国際理解推進事業・国際交流事業の参加者数は、積極的に事業に参加する市民が固定化されてきていること等により目標値を下回りました。引き続き、交流事業を活用しながら地域住民と外国人との交流意識を喚起し、国際交流に積極的な市民の視野を広げていきます。 (3)「環境に関する教育・学習活動の推進」については、出前環境教室の充実をはかるとともに、環境に配慮した行動や取り組みが進むよう、情報発信を行います。

○ 参考１：成果指標の状況

指 標 名	H19 基準値	R1実績値
		R1 目標値
UDに関する講座等への参加者数（人）	234 (H17-19 平均)	412
		370
国際理解推進事業・国際交流事業の参加者数（人）	8,465 (H17-19 平均)	8,939
		9,350
環境にやさしい活動実践校数（校）	10	41
		41

○ 参考２：主な取り組みの内容

◆ 出前環境教室の推進

出前環境教室では、地球温暖化や世界の環境問題などをテーマに出前講座を実施しています。（令和元年度 34 回、989 人）

新聞紙でエコバック作り、エネルギー体験、とかちの食と地産地消、買い物ゲーム等、楽しく学べるよう工夫をしながら、普段の生活における様々な行動が環境に影響を与えていることに気づき、環境保全に対する意識を高めるための取り組みを推進しています。



小学校での
出前環境教室の様子

◆ 帯広南商業高等学校におけるグローバル教育の充実

帯広南商業高等学校では、英語教育の一環として、帯広市姉妹都市であるマディソン市から招聘した英語指導助手を配置しています。

また、公益財団法人 AFS 日本協会から外国人留学生を 1 年間受け入れしています。

このほか、姉妹都市であるマディソン市へ生徒 5 人を派遣し、ホームステイ体験や現地高校生との交流を行うことにより、生きた英語や文化に直接触れ、専門性の高い国際理解教育につながっています。



マディソン市派遣研修の様子

(2) ともに学びきずなを育む地域づくり

個別目標2-1	ふるさとの理解の促進
市民がふるさとの風土に学び、自己を確立するとともに、ふるさとの誇りや愛着などを高めることができるよう、ふるさとの理解や再発見を促進する教育・学習活動をすすめます。	

○ 点検及び評価の結果

項 目	内 容
取り組みの成果	(1)「子どものふるさと教育の推進」については、家庭や地域の幅広い人々の参画・協力のもと、「郷土体験学習」、「自然体験学習」、「ふるさと学習農園」の体験活動を実施し、児童生徒のふるさとへの理解を推進しました。また、百年記念館では、身近な生きものについて理解を深め、環境を大切にする心を育てるため、エゾリスやアカゲラの暮らしを紹介する出前講座を実施するなど、児童生徒がふるさとの自然について学ぶ機会を提供しました。 (2)「地域に関する学習活動の推進」については、地域に根ざした親しみやすいコミュニティ講座等を開催したことにより、地域について学ぶ講座等への参加者数は目標値を上回りました。また、百年記念館では特別企画展「十勝開拓日記」を開催したほか、アイヌ民族文化情報センター（リウカ）では、アイヌ文化に関する展示、出前講座や自然観察会の開催など、アイヌ文化に触れる機会の充実をはかりました。そのほか、アイヌの古式舞踊の保存・伝承団体の活動支援のほか、アイヌの伝統的生活空間（イオル）再生事業に取り組み、十勝地域のアイヌ文化の保存・継承、理解促進をはかりました。図書館では、読書週間関連事業・社会教育施設連携事業として、地域資料講演会「図書館資料が語る十勝の歴史」を開催するなど、郷土をより身近に感じていただく機会の提供に努めました。
課題及び今後の方向性	(1)「子どものふるさと教育の推進」については、小中学校9年間を通して、帯広の自然や産業などを系統的に学ぶ「おびひろ市民学」をすすめます。また、百年記念館では、出前講座の教材の更新や新たなプログラムづくりに取り組みます。 (2)「地域に関する学習活動の推進」については、市民大学講座、百年記念館博物館講座や図書館郷土資料展示などを継続して行い、地域の文化や歴史を学び、理解を深める機会を提供するほか、多くの市民が興味・関心をもつよう、周知方法の工夫・改善に取り組みます。また、アイヌ民族の文化や歴史を学習する機会の充実をはかるため、リウカの利用や出前講座の周知を積極的に行うほか、アイヌの伝統文化の保存・普及をはかるため、引き続き、アイヌの古式舞踊の保存・伝承団体への支援、イオル再生事業に取り組みます。

○ 参考1：成果指標の状況

指 標 名	H19 基準値	R1 実績値
		R1 目標値
地域について学ぶ講座等への参加者数（人）	4,053	6,463
		4,000

○ 参考2：主な取り組みの内容

◆ 郷土体験学習の実施

小学4年生では、ふるさと帯広市の環境・自然・農業等に直接触れ、体験的に学ぶ教育プログラムを充実させることにより、郷土と自然を愛する、心豊かな児童の育成をはかることを目的に、郷土体験学習を実施しています。

主な行き先は、くりりんセンター、百年記念館等です。児童は、帯広市の豊かな自然を体験したり、帯広市ならではの施設を見学したりすることを通して、ふるさとの素晴らしさを体験していました。



くりりんセンター見学の様子

◆ 特別企画展の開催

特別企画展「十勝開拓日記」では、開拓者の日記などの参考文献を用いて、十勝・帯広の開拓および産業・観光業の形成、またそれらの歴史的背景を紹介し、明治から現在に至るまで地域社会がどのような歩みを見せたのか振り返る機会を提供しました。

令和元年8月10日から9月23日までの45日間で延べ5,771名にご来場いただきました。



「十勝開拓日記」展示の様子

個別目標2-2	きずなづくり・まちづくり
地域におけるきずなづくりや、市民主体のまちづくりに資するため、まちづくりへの市民参画やまちのにぎわい・交流を促進する学習・文化・スポーツ活動をすすめます。	

○ 点検及び評価の結果

項 目	内 容
取り組みの成果	(1)「まちづくりへの参画を促進する教育・学習活動の推進」については、図書館では「語り手育成講習会」、「学校図書館クリニック」などの参加者が、習得した知識と技術を生かして、図書館や学校などで活躍しています。百年記念館においても、ボランティア養成講座の受講者が、「音の博物館」、「レコードコンサート」の開催や展示解説などを行っています。動物園では、帯広畜産大学の学生ボランティアによる動物とのふれあい事業のサポートや、独自のイベント企画など、自主的な活動に取り組んでおり、定着したボランティア活動が事業展開の大きな支えとなっています。また、青少年育成団体などと連携し、体験活動や宿泊研修を通して、地域や学校での活動に取り組む青少年のリーダーを養成しており、地域の青少年活動の活性化につながっています。 (2)「にぎわいや交流を促進する文化・スポーツの振興」については、おびひろ市民芸術祭において、より多くのジャンルの団体が参加しやすくなるよう工夫に努め、発表・活動の場への参加団体数は目標値を上回りました。各種スポーツ大会の観客数については、日本クラブユースサッカー選手権大会など全国規模の大会を開催したことで、全国各地から多数の観客が訪れました。また、8 回目となるフードバレーとかちマラソン大会では、初のコース変更や十勝の食を生かしたおもてなしの充実により過去最多のランナーが参加しました。スポーツ合宿団体数は、新たな団体を誘致し、小学生対象のバレーボール教室を開催するなど、関係機関と協力し積極的な誘致活動を行いました。
課題及び今後の方向性	(1)「まちづくりへの参画を促進する教育・学習活動の推進」については、社会教育施設において、ボランティアの知識・技術の向上や継承をはかりながら、活動できる人材の育成に努めるとともに、自主性を促しながら、知識・技術の専門性を活かした活動の場を今後も提供していきます。また、青少年リーダー養成事業参加者数は、趣味、習い事やインターネットなど、学校外での過ごし方が多様化してきたことなどから、前年度より 38 名減少し、目標値を下回りました。引き続き、事業の積極的な周知に努め、ジュニアリーダー養成事業や各種体験活動事業に取り組みます。 (2)「にぎわいや交流を促進する文化・スポーツの振興」については、文化活動について構成員の高齢化や小規模化がすすんでいることから、文化芸術に関わる団体の活動の継続・活性化のため、文化団体等が意見・情報交換する機会の提供や情報収集の手法を検討します。各種スポーツ大会の観客数やスポーツ合宿団体数については、よつ葉アリーナ十勝が令和2年2月に供用開始したことから、帯広市スポーツ合宿・大会誘致推進実行委員会や関係団体と連携し、北海道をはじめ首都圏への誘致活動の強化をはかります。

○ 参考1：成果指標の状況

指 標 名	H19 基準値	R1 実績値
		R1 目標値
青少年リーダー養成事業参加者数（人）	208	210
		260
学習成果の活用事例数（件）	1 (H20)	8
		10
発表・活動の場への参加団体数（団体）	56	85
		65
各種スポーツ大会の観客数（万人）	16.0	19.6
		20.8
スポーツ合宿団体数（団体）	150 (H20)	139
		200

○ 参考2：主な取り組みの内容

◆ 百年記念館におけるボランティアによる活動

百年記念館では、30名の博物館ボランティアが、小学校など団体向けの展示室解説や、体験教室での指導、レコードやマッチなどの収蔵資料整理を行っています。

令和元年度には、こうした活動の成果として、音の博物館「レコードコンサート」や、ロビー展「マッチ箱」を開催しました。

ボランティアの活動は、博物館を活性化し、地域住民と博物館をつなぐ役割を果たしています。



「マッチ箱展」展示の様子

◆ 日本クラブユースサッカー選手権大会の開催

日本クラブユースサッカー選手権大会は、全国9地域の代表48チームが出場し、ユース年代選手のサッカー技術の向上をはかるとともに、クラブチームの普及と発展を目的とする全国大会です。

帯広市での開催は9回目（平成23年～）で、約1,500名の選手・関係者のほか、観戦者が集まりました。

また、開催運営費の支援や出場選手への「おびひろ極上水」の提供などを行いました。



日本クラブユースサッカー選手権大会
試合中の様子

(3) 基本目標を実現するための基盤づくり

基本方向1	学校・家庭・地域の連携
学校・家庭・地域がそれぞれの役割を果たし、相互に協力しながら、社会を挙げて教育を充実することができるよう、学校・家庭・地域の連携をすすめます。	

○ 点検及び評価の結果

項 目	内 容
取り組みの成果	(1)「開かれた学校づくり」については、全小中学校と帯広南商業高等学校で学校評議員制度を活用し、学校運営に関して意見をいただいたほか、行事に招待するなど、開かれた学校づくりをすすめました。また、コミュニティ・スクールを8校で導入するとともに、制度の周知を目的とした研修会や説明会を行いました。 (2)「家庭教育への支援」については、地域子育て支援センターにおいて、妊婦向け講座の開催を増やし、妊娠期からの支援の充実をはかったことなどにより、子ども1人当たりの子育て支援センター等の利用回数は目標値を上回りました。また、家庭教育学級では、各学級での学習会や、バス学習・合同レクなどの交流を通して、子どもの健全な成長発達や親自身の成長に役立つ学習を行い、家庭の持つ教育力を高めました。そのほか、百年記念館の親子陶芸教室や動物園の「親子で挑戦！動物園のミステリークイズ」など、親子が楽しみ、きずなを深める機会を提供しました。 (3)「家庭や地域による教育支援の推進」については、「こども学校応援地域基金プロジェクト」により、様々なボランティア団体がつながり、子どもを地域ぐるみで応援する取り組みをすすめてきた結果、全小中学校で学校支援ボランティアが活動しています。
課題及び今後の方向性	(1)「開かれた学校づくり」については、今後は、「地域とともにある学校づくり」へと取り組みを深化させ、コミュニティ・スクールの趣旨等を周知しながら、導入校を全校に拡大していきます。 (2)「家庭教育への支援」については、「すこやかネット」を通じて、妊婦と0才から就学前の子どもをもつ保護者を対象に子育てのアドバイスや施設マップのほか、離乳食やわらべうた、サークル情報を動画で配信するなど、子育てに役立つ情報の提供に取り組みます。 (3)「家庭や地域による教育支援の推進」については、活動内容を充実させていくためには、コーディネート機能と幅広い人材の確保が必要となることから、コーディネーターの資質向上に資する研修と、より効果的な広報活動の検討をすすめます。

○ 参考１：成果指標の状況

指 標 名	H19 基準値	R1 実績値
		R1 目標値
子ども１人当たりの子育て支援センター等の利用回数（回）	10.2	17.5
		12.0
子育てメール通信の利用率（％）	23.8 (H20)	19.5
		60.0
学校支援ボランティアを活用した学校数（校）	2	40
		40

○ 参考２：主な取り組みの内容

◆ 子育て支援センターにおける講座の実施

帯広市では、妊婦や就学前の親子が気軽に利用できる交流の場として、６か所の子育て支援センターで広場事業を実施しています。

月に１回程度の子育て講座を通して子育て情報や親子あそび等を提供し、親同士の交流を深めるとともに、親の学びの場を提供しています。内容はわらべうた、ベビーマッサージ、離乳食講座、救命救急講座などです。令和元年度は６か所の子育て支援センターで合計２９７回の講座を実施し、延べ４,１５５組の参加がありました。



子育て講座の様子

◆ コミュニティ・スクールの導入

帯広市では、令和元年度より８校でコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）を導入しました。

コミュニティ・スクールでは、保護者や地域の代表者で構成する学校運営協議会を設置し、地域でどのような子どもを育てていくのかを協議し、目標を共有した上で、学校・家庭・地域が協働しながら子どもの健全な育成を目指します。



学校運営協議会の様子

基本方向2	教育を支える人材の育成
専門性や豊かな人間性などを備えた、教育を支える人材を確保するため、教員や地域の指導者などの育成に取り組みます。	

○ 点検及び評価の結果

項 目	内 容
取り組みの成果	(1)「教員の人間力・指導力の向上」については、研修内容の充実や教員に対する研修機会の周知・徹底をはかったことにより、教職員 1 人当たりの研修受講回数は、目標値を上回りました。また、指導主事による学校訪問において、学校力と教員の指導力が向上するよう、管理職や教職員に指導・助言を行ったほか、学力向上推進プロジェクトチームによる学級経営・授業改善ワンポイント講座を年2回開催し、教員の指導力向上に努めました。そのほか、教職員の勤務状況の改善等に向けて、「帯広市立学校における教職員の働き方改革推進プラン」に基づき、部活動休養日や学校閉庁日の設定などに取り組みました。 (2)「地域の人材の発掘・育成・活用」については、教育、文化やスポーツなどの様々な分野で活躍している指導者へ登録を呼びかけるとともに、指導者募集チラシの配置箇所拡大、関係課協力のもと小中学校児童生徒の保護者への直接配付、市内町内会班回覧等の周知を行った結果、地域の指導者の登録者数は目標値を上回りました。また、地域のスポーツ文化であるスピードスケートの普及振興を推進するため、十勝管内小学校の授業開放を実施するなど、明治北海道十勝オーバルの利用促進に取り組んだほか、「ほっとドリームプロジェクト」では、指導者や教員の指導力向上のための講習会などを開催し、人材育成をはじめ、競技力向上やスピードスケート人口の拡大に取り組みました。
課題及び今後の方向性	(1)「教員の人間力・指導力の向上」については、学校教育の推進には教員の力量や人間性などに負うところが大きいことから、教育課題に合致した教員研修の工夫や公開研究会の充実をはかり、積極的な受講や参加を呼びかけるほか、ICT の活用技能の向上や教員リーダー育成事業などにより、教員の指導力の向上に取り組みます。また、今日では、チームとしての学校の実現や学校と地域の連携・協働、学校における働き方改革等、様々な教育課題の解決に向けたマネジメント力を発揮できる管理職の資質能力の育成・向上が必要であることから、学校管理職マネジメント研修を実施するほか、教職員の勤務状況の改善に向けて、「帯広市立学校における教職員の働き方改革推進プラン」に基づく取り組みを推進します。 (2)「地域の人材の発掘・育成・活用」については、高齢化等により活動を終了した文化団体が年々増加しており、ホームページで芸術・文化活動を紹介する文化団体数は前年度より2団体減少し、目標値を下回りました。引き続き、ホームページに掲載していない団体へ積極的に PR をはかり、団体数の確保に取り組みます。

○ 参考１：成果指標の状況

指 標 名	H19 基準値	R1 実績値
		R1 目標値
教職員１人当たりの研修受講回数（回）	2.2	3.4
		3.0
地域の指導者の登録者数（人）	138	192
		190
ホームページで芸術・文化活動を紹介する文化団体数（団体）	260	264
		272

○ 参考２：主な取り組みの内容

◆ 教職員研修の実施

教員リーダー育成事業「ONE-UP研修会」においては、教員の資質能力や豊かな人間性と社会性の向上を目指し、多種多様な業種の方の話を聞き、参加した教員で交流をはかりました。

令和元年度は計３回実施し、延べ２１９人が参加しました。

１２月に行われた研修会では、NHK 帯広放送局長 高木剛氏を講師に招き、「なつぞらが伝えた十勝」をテーマに、「なつぞら」に係る制作側の思いや「なつぞら」による十勝・帯広の魅力発信について、講演をしていただきました。



「ONE-UP 研修会」の様子

◆ 生涯学習指導者登録制度

生涯学習指導者登録制度とは、趣味、教養、芸術、文化、スポーツなどの様々な分野で活躍している個人または団体を「帯広市生涯学習指導者」として登録し、地域における学習活動（講演会やイベント等）を支援する制度です。ご登録いただいた情報は、２年に１度、更新・確認作業を行い、市ホームページを通して多くの皆さまに提供しています。

令和元年度の登録者数は、目標値 190 人のところ 192 人となり、地域の人材の発掘及び情報提供ができました。



基本方向3	教育環境の充実
市民が生き生きと学ぶことができるよう、安全・安心で利用しやすく、環境負荷の低減にも配慮した教育環境の整備をすすめます。	

○ 点検及び評価の結果

項 目	内 容
取り組みの成果	(1)「学校教育の環境整備」については、小・中学校校舎の耐震化率は、目標値の100%を達成しているほか、非構造部材の耐震化として屋内プール天井の落下防止対策工事も完了しています。また、「帯広市学校施設長寿命化計画」に基づき、啓北小・広陽小・八千代中の受変電設備改修、翔陽中屋体の屋根葺替や大空中学校長寿命化改修のための実施設計を行いました。そのほか、生徒の通学時の携行品の重さや量に対応するため、市内6中学校において、生徒用スクールロッカーを整備しました。 (2)「社会教育の環境整備」については、現図書館開館からの来館者が600万人に到達したほか、子どもたちの夏・冬休みにはゲーム感覚で本に親しんでもらう「本探しゲーム」の実施や、移動図書館バスのチラシを町内会の班回覧にて周知するなど、図書館サービスの利用促進をはかりました。また、令和2年2月にはよつ葉アリーナ十勝の供用を開始し、最新のトレーニング設備を導入するなど、スポーツに取り組む環境を整えました。さらに、とかちプラザの暖房用ボイラーの改修、百年記念館のボイラー修繕や帯広市民文化ホールの非常用制御蓄電池の更新、動物園でのブリーディングローンによるアミメキリンの導入や園路舗装の修繕など、社会教育施設の整備を行い、市民利用の利便性の向上と安全性の確保に努めました。 (3)「保育・体験活動の環境整備」については、老朽化した施設の修繕や保育需要に応じた改修を行いました。また、児童会館において科学関連・文化関連の催事・イベントを継続的に行うとともに、プラネタリウムでの新番組の導入などにより、入館者数は目標値を上回りました。
課題及び今後の方向性	(1)「学校教育の環境整備」については、「帯広市学校施設長寿命化計画」に基づき、計画的に修繕を行い、学校施設の長寿命化及び機能・性能の改善に努めます。 (2)「社会教育の環境整備」については、図書館において、新型コロナウイルス感染症の影響などもあり、市民1人当たりの図書等の貸出点数は目標値を下回りました。新しい生活様式のもと利用者の増加に向け、年齢に応じたブックリストの配布や蔵書の充実など、引き続き、利用者サービスの向上に取り組めます。また、多くの施設において老朽化がすすんでいることや、更新時期を迎える設備があることから、市民の学習拠点である施設の機能を維持できるよう、施設状況を適切に把握し、施設・設備の修繕等を行い、利用者の安全性の確保をはかります。 (3)「保育・体験活動の環境整備」については、引き続き、老朽化した保育所や児童保育センターの改修などをすすめるとともに、「第2期おびひろ子ども未来プラン(子ども・子育て支援事業計画)」に基づき、需要が高い低年齢児の受入枠の確保に向けた取り組みをすすめるなど、保護者のニーズや事業者の意向を把握しながら、質の高いサービスが提供できる体制づくりをすすめます。

○ 参考１：成果指標の状況

指 標 名	H19 基準値	R1 実績値
		R1 目標値
小・中学校校舎の耐震化率（％）	46.5	100.0
		100.0
市民１人当たりの図書等の貸出点数（点）	5.4	5.0
		7.0
児童会館の入館者数（万人）	10.9 (H17-19 平均)	13.3
		12.0

※貸出点数は年間の点数

○ 参考２：主な取り組みの内容

◆ 新しい総合体育館の供用開始

よつ葉アリーナ十勝は、「スポーツをする、みる、ささえる」をコンセプトとし、令和２年２月にオープンしました。延床面積はこれまでの２．５倍となり、メインとサブのアリーナをはじめとする諸室を備えています。メインアリーナには移動観覧席が設けられ、より大規模なプロスポーツやコンサートなどの利用も可能となりました。また、バリアフリーの採用や、キッズコーナーの充実など、ユニバーサルデザインを取り入れ、誰もが利用しやすい施設として、多くの方々に利用されています。



帯広市総合体育館
(よつ葉アリーナ十勝)

◆ スクールロッカーの整備

生徒の通学時の携行品の過度な重さや量に対応し、負担を軽減するため、ロッカーが未整備であった帯広第一中学校・帯広第五中学校・帯広第八中学校・大空中学校・南町中学校・緑園中学校の６校全学年６６クラスにスクールロッカーを整備しました。



整備されたスクールロッカー
(帯広第一中学校)

基本方向4	教育機会の確保
家庭の経済状況や障害の有無などに関わらず、安心して教育を受けることができるよう、教育機会の確保に向けた取り組みをすすめます。	

○ 点検及び評価の結果

項 目	内 容
取り組みの成果	(1)「就学・進学への支援」については、農村地域で遠距離通学となる児童生徒や、プール授業等の移動手段としてスクールバスを運行しました。また、経済的な理由により児童生徒の就学が困難な保護者へ学用品費等を支給している就学援助費については、令和元年度、国の要保護児童生徒援助費補助金の単価改定にあわせて、支給額を改定しました。そのほか、高校や大学等への進学機会の確保のため、私立高等学校生徒授業料補助や奨学金により保護者の負担を軽減するとともに、市内高校の間口確保のため、「帯広市高等学校間口対策協議会」を中心に情報収集を行いました。 (2)「健やかな発達の支援」については、特別な配慮を必要とする子どもの教育的ニーズを把握しながら、学校や地域の状況、保護者や専門家の意見等を総合的に勘案しながら特別支援学級の設置をすすめたことにより、設置数は目標値を上回りました。また、対象児童生徒の増加に伴いニーズも多様化していることから、特別支援教育補助員、助手や生活介助員（看護師資格を有する者を含む）を継続して配置し、特別支援教育の充実をはかりました。
課題及び今後の方向性	(1)「就学・進学への支援」については、車両の更新や運転手の確保など、スクールバスの安定的な運行に向けて取り組むほか、就学・進学における経済的負担を軽減するため、国、道や他市町村の動向も踏まえながら、今後とも就学援助等の制度を適切に運営していきます。また、市内高校の間口を維持・確保するため、引き続き「帯広市高等学校間口対策協議会」を通して情報収集や要望活動を行います。 (2)「健やかな発達の支援」については、特別な配慮を必要とする児童生徒に対し適切な支援や教育を行うため、引き続き、特別支援教育補助員や助手、生活介助員を各学校の実情を踏まえて配置するほか、合理的配慮（※）の考え方に基づいた環境の整備に努めます。 ※合理的配慮：障害のある方から何らかの配慮を求める意思の表明があった場合に、負担になり過ぎない範囲で、社会的障壁を取り除くこと。

○ 参考１：成果指標の状況

指 標 名	H19 基準値	R1 実績値
		R1 目標値
特別支援学級の設置数（学級）	38	84
		59

○ 参考２：主な取り組みの内容

◆ 就学援助費の拡充

就学援助費は、経済的な理由により児童生徒の就学が困難な世帯に対し、必要となる費用を支給する制度です。修学旅行費、学校給食費、学用品費、新入学学用品費、医療費、宿泊を伴う校外活動費、PTA会費、生徒会費を支給し、保護者の経済的負担の軽減をはかりました。

新入学学用品費については、より使いやすい制度となるよう、平成30年度から、新小学1年生分、新中学1年生分ともに入学前の2月に前倒した支給をしています。

また、令和元年度に国の要保護児童生徒援助費補助金の単価の増額にあわせて、支給額を改定しました。



◆ 特別支援教育の充実

「特別支援教育」とは、特別な配慮を要する児童生徒に対し適切な支援や教育を行うことです。

児童生徒の成長に合った適切な就学を図るため、特別支援教育の専門家で構成された教育支援委員会において、就学先を決定するための教育相談を令和元年度は468件実施しました。

また、介助が必要な児童生徒のために28人の生活介助員を配置するとともに、発達障害などの理由により、学校生活に困り感を抱える児童生徒を支援するため、60人の特別支援教育補助員を配置しました。



特別支援学級の授業の様子

基本方向5	よりよい教育のためのしくみづくり
地域の実情に応じた、より質の高い、魅力ある教育を推進するため、よりよい教育のためのしくみづくりをすすめます。	

○ 点検及び評価の結果

項 目	内 容
取り組みの成果	(1)「魅力ある学校づくりの推進」については、おびひろっ子学び支援事業やおびひろっ子絆支援事業を実施し、地域と密着した活動や人材の活用など、全小中学校で特色ある教育活動に努めました。 (2)「学校教育のしくみの工夫改善」については、幼保・小・中間の相互連携をはかるため、「帯広市エリア・ファミリー構想」にある全地区（14 エリア）において推進委員会を開催しました。また、「帯広市小中一貫教育推進ガイドブック」に基づき、小中一貫教育を推進したほか、小中学校適正規模適正配置の推進によりより良い教育環境の整備をすすめるため、「大空地区義務教育学校準備協議会」を設置しました。 (3)「社会教育施設の利用の促進」については、とかちプラザのトレーニングルームや百年記念館の常設展示室などの入館者数が堅調に推移した結果、社会教育施設の総利用者数は目標値を上回りました。また、動物園の今後の魅力アップの考え方や取り組みを示す、「おびひろ動物園の魅力アップに向けて（方針）」を決定しました。そのほか、子どもの自主的な読書活動の推進に取り組むための方向性を示す、「第四期帯広市子どもの読書活動推進計画」を策定しました。 (4)「地域の実情に応じた教育行政の推進」については、市内4か所で教育懇談会を開催し、教育長と教育委員が地域に出向いて市民と教育行政に関する意見交換を行い、その概要をホームページに掲載し、市民周知をはかったほか、教育・文化・スポーツの振興による活力ある地域社会の実現に向け、「帯広市教育基本計画（令和2年度～令和11年度）」を策定しました。
課題及び今後の方向性	(1)「魅力ある学校づくりの推進」については、学校支援地域本部のコーディネーター活用等により人材発掘と確保をはかり、地域と連携した教育活動の充実に努めます。 (2)「学校教育のしくみの工夫改善」については、「帯広市立大空中学校適正規模の確保等に関する実施計画」に基づき、教職員・保護者・地域住民等で構成する大空地区義務教育学校準備協議会において、引き続き校歌・校章の選定等の開校準備作業をすすめます。 (3)「社会教育施設の利用の促進」については、文化施設の利用者数は、新型コロナウイルス感染拡大防止による外出自粛の影響により、前年度に比べて減少し、目標値を下回りました。また、スポーツ施設の利用者数についても、明治北海道十勝オーバルの利用が好調であるものの、総合体育館の建替えにより体育館が使用できない期間があったことなどから、目標値を下回りました。今後も各施設において、利用者が安心して施設を利用できるよう努めます。 (4)「地域の実情に応じた教育行政の推進」については、幅広い市民や教育関係団体の意見を反映できるよう、教育懇談会の会場や開催方法の工夫と改善に努めます。

○ 参考1：成果指標の状況

指 標 名	H19 基準値	R1 実績値
		R1 目標値
社会教育施設の総利用者数（万人）	95.2	105.3
		95.2
文化施設の利用者数（万人）	54.8	53.1
		60.0
スポーツ施設の利用者数（万人）	114.8	119.3
		128.6

○ 参考2：主な取り組みの内容

◆ 帯広市教育基本計画(令和2年度～令和11年度)の策定

帯広市の教育・文化・スポーツの振興による活力ある地域社会の実現に向け、市民と行政が協働して取り組むための指針として帯広市教育基本計画を新たに策定しました。

計画は、基本理念である「ふるさとの風土に学び 人がきらめき 人がつながる おびひろの教育」の実現に向け、2つの基本目標、7つの基本施策、23の個別施策で構成しています。



◆ 第四期帯広市子どもの読書活動推進計画の策定

「自主的な読書活動を推進することにより、子どもの豊かな心を育成します。」を基本理念として、家庭、地域、学校などの関係機関等が連携・協力し、帯広市の子どもの自主的な読書活動の推進に取り組むための方向性を示すものとして策定しました。

おはなし会をはじめとして、発達段階ごとの特徴を踏まえた取り組みにより、自主的に読書に親しむ習慣が身に付けられるよう子どもの読書活動を推進します。



3 教育に関する学識経験者の意見

公益財団法人 とかち財団 理事長 長 澤 秀 行

(国立大学法人 帯広畜産大学 前学長)

第一期帯広市教育基本計画の最終年度となる令和元年度の取り組みについて、個別目標及び基本方向ごとに実施された点検方法及び評価結果は適切であると判断します。さらに、項目ごとの課題及び今後の方向性についても、的確であると考えます。

令和元年度の取り組みとして特筆すべき項目が3点挙げられます。特に注目すべき項目としてコミュニティ・スクールの導入です。「学校・家庭・地域の連携」では、それぞれが役割を果たし、相互に協力しながら、社会を挙げて教育を充実することとしており、帯広市では令和元年10月より8校でコミュニティ・スクールが導入されました。我が国は、少子高齢化が社会問題となり、核家族化がすすみ、最近では新型コロナウイルス感染症の影響で家にこもりがちな状況においては、コミュニティ・スクールの重要性がますます増してくると思います。引き続き学校運営協議会において、課題と解決方を十分に議論し、地域とともに子どもの健全な育成を目指していただきたいと思います。今後、導入校拡大に向けた取り組みと成果の普及を大いに期待します。

2つ目は、「教育環境の充実」において、安全・安心で利用しやすく、環境負荷の低減にも配慮した施設整備は、利用者にとって優先してもらいたい項目です。すでに、小中学校校舎の耐震化率は目標値の100%を達成しているほか、屋内プール天井の落下防止対策工事も完了しており、「帯広市学校施設長寿命化計画」に沿った取り組みも順調にすすんでいるといえるでしょう。また、令和2年2月には、帯広市総合体育館がよつ葉アリーナ十勝として供用開始されました。延床面積がこれまでの2.5倍となり、最新のトレーニング設備の導入や、移動観覧席が設けられ、大規模なプロスポーツやコンサートなどでの利用も可能になったほか、バリアフリーやユニバーサルデザインが取り入れられ、誰もが利用しやすい施設となったことで、コロナ禍で現在のところ利用は限定的ですが、活用が広がることを期待します。

3つ目は、「よりよい教育のためのしくみづくり」において、「おびひろ動物園の魅力アップに向けて(方針)」や「第四期帯広市子どもの読書活動推進計画」を策定したことです。おびひろ動物園は、動物展示を目的とするだけでなく、環境・情操教育、種の保存や動物福祉への配慮など、種々の課題を考える場としても重要な公共財産です。また、大型遊具を併設し、帯広市の中心市街地に近く、近隣の美術館や百年記念館などを含む一帯の活用には、魅力アップの可能性が大いにあると考えます。ボランティア団体など関係機関とのさらなる連携に期待します。帯広図書館では、コロナ禍により制約を受ける取り組みもありますが、読書が好きな子どもの割合が多い点を生かして、家庭や地域と連携協力して読書離れを減らす取り組みの推進を期待します。

「ふるさとの風土に学び 人がきらめき 人がつながる おびひろの教育」という帯広市教育基本計画の基本理念を念頭に置き、引き続き、家庭・地域・学校が連携し、令和2年度からの帯広市教育基本計画においてもそれぞれの施策のさらなる推進を期待します。

令和元年度の点検・評価にあたり、生涯学習、学校支援等、子どもや大人の学びの場に関わる立場から意見を申し述べます。第一期帯広市教育基本計画は、令和元年度が最終年度になることから、諸施策推進の成果が問われます。実績値は、全 34 指標のうち、目標値達成は 18 指標（53%）に留まっておりますが、目標値前後を推移している指標が多く、参加者数が変動しやすい各種大会やイベント関係が含まれた指標もあることから、基本目標や個別目標に対する点検・評価は、今後課題を残しながらも、概ね適切であると考えます。

基本目標（１）「次代を担う人づくり」における「知識・技能の習得」では、学習指導要領に準拠して毎年度同一方式で実施している標準学力検査の目標標準到達観点数は、全 42 観点に達し、引き続き学校における今後の授業改善や家庭と連携した家庭学習の取り組みに期待します。

「豊かな心の育成」については、学校図書ボランティアによる読み聞かせや朝読書の取り組みが定着し、小中学校図書館における児童・生徒 1 人当たりの貸出冊数は、目標値を上回っておりますが、市図書館との連携や活用、学校図書館の蔵書の充実が望まれます。一方で、不登校児童・生徒の学校復帰率は目標値を下回り、個々に応じた教育相談や保護者への相談体制の充実が必要であると考えます。

基本目標（２）「ともに学びきずなを育む地域づくり」における「ふるさととの理解の促進」では、身近な学習の場としての「コミュニティ講座」などにより、地域について学ぶ講座等への参加者数は目標値を上回りました。また、百年記念館の特別企画展「十勝開拓日記」や、アイヌ民族文化情報センターでのアイヌ文化に触れる企画も評価できます。令和２年度から始まる「おびひろ市民学」により、今後も子どもたちのふるさとに対する誇りや愛着が高まることを期待します。

基本目標（３）「基本目標を実現するための基盤づくり」における「学校・家庭・地域の連携」では、コミュニティ・スクールが８校で導入され、「地域とともにある学校づくり」が望まれておりますが、コーディネーター機能の確保の必要性が指摘されており、地域それぞれの事情や特色に応じた支援が望まれます。

「教育を支える人材の育成」では、生涯学習指導者登録制度の登録者は目標値を上回っておりますが、制度がどのように活用され、どのような分野の指導者が地域に求められているのかを把握し、より活用される制度にする必要があると考えます。

「教育環境の充実」では、生徒の通学時の教科書等の重さや量を軽減するためのスクールロッカーが未整備であった６つの中学校に整備され、生徒の悩みの一つが解消されたことが評価できます。一方、図書館は来館者 600 万人に達しましたが、市民 1 人当たりの図書等の貸出点数は目標値を下回り、今後の対策として、蔵書の充実や学校との連携等が必要であると考えます。

「教育機会の確保」では、特別支援教育において適切な就学に配慮した特別支援学級の設置、特別支援教育補助員や生活介助員の配置、さらに専門家による教育相談等が充実していると考えます。

「よりよい教育のためのしくみづくり」では、動物園において「おびひろ動物園の魅力アップに向けて（方針）」が決定され、今後期待します。

報告書では、各目標に対する成果や課題は、第二期帯広市教育基本計画に生かされるまとめとなっております。教育行政の推進には、市民協力が不可欠であり、より積極的で、充実した情報発信につとめ、事業推進されることを期待します。

参 考 資 料

○ 令和元年度教育委員会の活動状況

(1) 帯広市教育委員名簿

令和2年3月31日現在

役職	氏名	備考
教育長	池原 佳一	令和元年10月26日就任
委員（教育長職務代理者）	田中 厚一	平成19年4月1日就任（令和元年10月26日職務代理者就任）
委員	藤澤 郁美	平成27年6月23日就任
委員	佐々木 しゅり	平成28年6月23日就任
委員	塩野谷 和男	平成28年12月21日就任

(2) 教育委員会会議の開催状況

期日	番号	案件
平成31年4月24日	議案第14号 議案第15号 議案第16号 議案第17号 報告第11号 報告第12号 その他	帯広市奨学条例施行規則等の一部改正について 教職員の処分内申について 帯広市社会教育委員の解職について 帯広市社会教育委員の委嘱について 教育長職務代理者の指名について おびひろ動物園魅力アップ検討委員会報告書について (1) 帯広市議会3月定例会の報告について (2) 今後の事業予定について (3) 寄附受納について
令和元年5月21日	議案第18号 報告第13号 報告第14号 報告第15号 報告第16号 その他	令和元年度帯広市一般会計補正予算について コミュニティ・スクールの導入について 帯広市教育支援委員会委員の解任及び委嘱について 帯広市図書館協議会委員の解任及び任命について 帯広市新総合体育館へのネーミングライツ導入について (1) 今後の事業予定について (2) 寄附受納について
令和元年6月26日	議案第19号 議案第20号 議案第21号 議案第22号 報告第17号 報告第18号 報告第19号 報告第20号 報告第21号 その他	帯広市立高等学校教育職員等の表彰について 帯広市図書館条例施行規則の一部改正について 帯広百年記念館条例施行規則の一部改正について 帯広市動物園条例施行規則の一部改正について 帯広市教科用図書選定委員会委員の委嘱について 教職員の処分について 平成31年度「おびひろっ子学び支援事業」及び 「おびひろっ子絆支援事業」について 帯広市教育研究所運営委員会委員の委嘱について 帯広市学校給食センター運営委員会委員の任命について (1) 帯広市議会6月定例会の報告について (2) 今後の事業予定について (3) 寄附受納について
令和元年7月22日	議案第23号 議案第24号 報告第22号 報告第23号 報告第24号 報告第25号 報告第26号 その他	帯広市立高等学校学則の一部改正について 帯広市社会教育委員の委嘱について 大空地区義務教育学校開校の取り組みについて 帯広市文化財審議会委員の委嘱について 帯広市民文化ホール運営審議会委員の委嘱について 帯広百年記念館運営審議会委員の委嘱について 帯広市スポーツ推進審議会委員の任命について (1) 今後の事業予定について (2) 寄附受納について
令和元年8月6日	議案第25号 議案第26号 議案第27号 報告第27号	中学校用教科用図書の採択について 小学校用教科用図書の採択について 高等学校用教科用図書の採択について 教科用図書の採択に係る情報の公表について
令和元年8月19日	議案第28号 報告第28号 報告第29号	帯広市学校運営協議会規則の制定について 帯広市教育基本計画(令和2年度～令和11年度)(骨子)について 第四期帯広市子どもの読書活動推進計画(骨子)について

期日	番号	案件
令和元年9月5日	議案第29号 議案第30号 議案第31号 報告第30号 報告第31号 その他	平成30年度帯広市一般会計歳入歳出決算認定について 令和元年度帯広市一般会計補正予算(第4号)について 帯広市立高等学校学則の一部改正について 帯広市教育支援委員会委員の委嘱について 帯広市立学校に係る部活動の方針について (1) 令和元年度教育懇談会の開催について (2) 今後の事業予定について (3) 寄附受納について
令和元年9月25日	議案第32号 議案第33号 議案第34号	職員の人事について 令和元年度帯広市文化賞及び文化奨励賞等の決定について 令和元年度帯広市スポーツ賞及びスポーツ奨励賞の決定について
令和元年10月3日	議案第35号 議案第36号	職員の人事について 帯広市事務分掌条例の一部改正について
令和元年10月11日	議案第37号	令和元年度帯広市スポーツ賞の決定について
令和元年10月23日	議案第38号 議案第39号 報告第32号 その他	令和2年度帯広市立高等学校の入学者募集について 令和元年度帯広市市民文芸賞及び市民文芸準賞の決定について 平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査の結果について (1) 帯広市議会9月定例会の報告について (2) 今後の事業予定について (3) 寄附受納について
令和元年11月19日	議案第40号 議案第41号 議案第42号 議案第43号 議案第44号 報告第33号 報告第34号 報告第35号 報告第36号 報告第37号 その他	令和元年度帯広市一般会計補正予算(第6号)について 令和元年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価について 帯広市立学校における教職員の働き方改革推進プランの改定について 公の施設の指定管理者の指定について 個別施設計画(市民文化・社会教育系施設、スポーツ系施設)(案)について 教育長職務代理者の指名について 大空地区義務教育学校の取り組みについて 帯広市教育基本計画(令和2年度～令和11年度)(原案)について とちかちプラザ運営審議会委員の委嘱について 第四期帯広市子どもの読書活動推進計画(原案)について (1) 今後の事業予定について (2) 寄附受納について
令和元年12月26日	議案第45号 議案第46号 議案第47号 議案第48号 議案第49号 報告第38号 報告第39号 その他	職員の処分について 帯広市定住交流センター条例施行規則等の一部を改正する規則制定について 帯広市体育施設条例の一部を改正する条例の施行期日を定める規則制定について 帯広市スポーツ賞スポーツ奨励賞規則の一部改正について 帯広市スポーツ推進委員設置規則の一部改正について 令和元年度とちかちジュニア文芸各賞の決定について 給食費改定の検討に着手する際の判断基準について (1) 帯広市議会12月定例会の報告について (2) 教育懇談会の概要報告について (3) 今後の事業予定について (4) 寄附受納について
令和2年1月21日	議案第1号 議案第2号 その他	帯広市社会教育委員の解職について 帯広市社会教育委員の委嘱について (1) 今後の事業予定について (2) 寄附受納について
令和2年2月6日	議案第3号 議案第4号 議案第5号 報告第1号 報告第2号 報告第3号 報告第4号 報告第5号	帯広市立学校設置条例の一部改正について 帯広百年記念館条例の一部改正について 帯広市体育施設条例の一部改正について 帯広市教育基本計画(令和2年度～令和11年度)(原案)に対するパブリックコメントの結果及び帯広市教育基本計画(令和2年度～令和11年度)(案)について 帯広市奨学生選考委員会委員の委嘱について 令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について 第四期帯広市子どもの読書活動推進計画(原案)に対するパブリックコメントの結果及び第四期帯広市子どもの読書活動推進計画(案)について おびひろ動物園の魅力アップに向けて(方針)(案)について
令和2年2月21日	議案第6号 議案第7号 議案第8号 報告第6号 その他	令和元年度帯広市一般会計補正予算(第10号)について 令和2年度帯広市一般会計予算について 帯広市職員定数条例の一部改正について 令和元年度帯広市教育研究実践表彰並びに帯広市学校文化活動奨励賞について (1) 今後の事業予定について (2) 寄附受納について

期日	番号	案件
令和2年3月2日	議案第9号	令和元年度帯広市一般会計補正予算(第11号)について
令和2年3月11日	議案第10号	令和元年度帯広市一般会計補正予算(第13号)について
令和2年3月19日	議案第11号 議案第12号 議案第13号 議案第14号 議案第15号 議案第16号 議案第17号 議案第18号 議案第19号 議案第20号 議案第21号 議案第22号 議案第23号 議案第24号 議案第25号 議案第26号 報告第7号 その他	組織再編に伴う関係教育委員会規則の整理に関する規則制定について 組織再編に伴う関係教育委員会規程の整理に関する規程制定について 帯広市若内自然の村条例施行規則の制定について 帯広市児童会館条例施行規則の制定について 帯広市児童会館処務規程の制定について 帯広市教育委員会傍聴人規則の一部改正について 帯広市教育基本計画(令和2年度～令和11年度)について 令和2年度帯広市教育行政執行方針について 帯広市立学校の教育職員の業務量の適切な管理等に関する規則の制定について 教職員の人事内申について 第四期帯広市子どもの読書活動推進計画について 帯広市視聴覚ライブラリー規則の廃止について 帯広市図書館処務規程の一部改正について おびひろ動物園の魅力アップに向けて(方針)について 帯広市学校開放事業の管理運営に関する規則の一部改正について 教職員の処分内申について 令和2年度帯広市学校教育指導の重点について (1)今後の事業予定について (2)寄附受納について
令和2年3月23日	議案第27号 議案第28号	職員の人事について 令和元年度帯広市一般会計補正予算(第14号)について
令和2年3月27日	議案第29号 議案第30号 議案第31号 議案第32号 議案第33号 議案第34号 議案第35号 議案第36号 議案第37号	帯広市教育委員会嘱託職員の任用等に関する規則の廃止について 帯広市教育委員会会計年度任用職員の任用等に関する規則の制定について 帯広市教育委員会会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する規則の制定について 帯広市教育委員会会計年度任用職員の休暇に関する規則の制定について 帯広市教育委員会職員職名規則の一部改正について 帯広市教育委員会事務局組織規則の一部改正について 帯広百年記念館条例施行規則の一部改正について 帯広市教育施策推進委員会設置規程の一部改正について 帯広市スポーツ施設専門指導員設置規程の廃止について

- ・教育委員会会議開催回数 21回
 議決案件 73件 うち非公開 40件 (うち所定の手続き後会議録を公開 36件)
 報告案件 36件 うち非公開 15件 (うち所定の手続き後会議録を公開 14件)
 その他 28件

〔参考〕教育委員会会議の非公開について

教育委員会会議は、公開が原則ですが、①個人の権利を侵害するおそれのあるもの、②職員の任免、賞罰、人事等、③附属機関の委員の任免、④議会の議案に係る意見申出、⑤訴訟、不服申立に係るもの、⑥教育行政の公正、円滑な運営に支障が生じるおそれがあるものについては、出席委員の3分の2以上の多数で、公開しないことができます。(帯広市教育委員会会議規則第16条)

(3) 課題研究協議会開催状況

回数	期日	テ ー マ
1	令和元年5月21日	「第四期帯広市子どもの読書活動推進計画」の策定について (仮称)第二期帯広市教育基本計画について 小学校教科用図書の採択について 帯広市いじめ防止等に関する基本的な方針の策定について
2	令和元年6月26日	帯広市立学校に係る部活動の方針について
3	令和元年7月22日	教育基本計画(骨子)について 第四期帯広市子どもの読書活動推進計画(骨子)について おびひろ動物園魅力アップ推進プラン(素案)について 個別施設計画(素案)について
4	令和元年7月24日	教科用図書の答申内容について
5	令和元年10月15日	第四期帯広市子どもの読書活動推進計画(原案)について 帯広市教育基本計画(令和2年度～令和11年度)(原案)について
6	令和元年10月23日	個別施設計画(市民文化・社会教育系施設、スポーツ系施設)(素案)について 帯広市教育基本計画(令和2年度～令和11年度)(原案)について
7	令和元年11月19日	おびひろ市民学について
8	令和2年1月21日	おびひろ動物園の魅力アップに向けて(方針)(案)について 第四期帯広市子どもの読書活動推進計画(案)について 帯広市教育基本計画(令和2年度～令和11年度)(案)について

(4) 総合教育会議の開催状況

期日	番号	案件
令和2年3月30日	協議事項	教育大綱について

〔参考〕総合教育会議について

帯広市総合教育会議は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第1条の4第1項に基づき設置するもので、以下の事項について、帯広市長と帯広市教育委員会による協議及び事務の調整等を行うこととしています。

- (1) 帯広市の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱の策定
- (2) 帯広市の教育を行うための諸条件の整備その他の地域の実情に応じた教育、学術及び文化の振興を図るため重点的に講ずべき措置
- (3) 児童、生徒等の生命又は身体に現に被害が生じ、又はまさに被害が生ずるおそれがあると見込まれる場合等の緊急の場合に講ずべき措置

(5) 研修会参加状況

期日	場所	研修会等	出席者
令和元年11月22日	帯広市	令和元年度十勝管内市町村教育委員研修会	3人

1回 延べ3人

(6) 行事等参加状況

期日	行事名	出席者数
平成31年4月8日	市内小学校入学式	3人
平成31年4月8日	市内中学校入学式	3人
平成31年4月9日	帯広南商業高等学校入学式	3人
平成31年4月19日	帯広市体育連盟定期総会	1人
令和元年6月1日～ 令和元年6月2日	市内中学校体育祭	13人
令和元年6月1日～ 令和元年6月9日	市内小学校運動会	7人
令和元年6月28日～ 令和元年11月15日	市内小中学校公開研究会等	37人
令和元年9月4日	令和元年度帯教研教育講演会	4人
令和元年9月21日	豊成小学校開校50周年記念式典	2人
令和元年9月23日	帯広市功労者表彰式	3人
令和元年10月14日	令和元年度帯広市スポーツ賞・スポーツ奨励賞表彰式	5人
令和元年10月15日～ 令和元年11月11日	教育懇談会	12人
令和元年11月3日	令和元年度帯広市文化賞・文化奨励賞表彰式	5人
令和元年11月6日	北海道都市教育長会秋季定期総会	1人
令和元年11月9日	帯広南商業高等学校創立60周年記念式典	4人
令和元年11月30日	市民文芸賞表彰式	5人
令和2年1月6日	帯広市新年交礼会	3人
令和2年1月12日	帯広市大人の集い	5人
令和2年1月25日	体育連盟功労者授賞式	1人
令和2年1月29日	交流給食会（明和小学校）	4人
令和2年2月19日	よつ葉アリーナ十勝 内覧会	5人
令和2年2月21日	ZooFul(ボランティア団体)との懇談会	4人
令和2年2月22日	とかちジュニア文芸表彰式	3人

延べ133人

○ 令和元年度教育行政執行方針(抜粋)

1. 基本的な考え方

帯広市教育委員会は、社会的背景を踏まえて、帯広市教育基本計画の基本理念である、「ふるさとの風土に学び 人がきらめき 人がつながる おびひろの教育」を実現するため、基本計画に基づく施策を進めてまいります。

学校教育分野においては、小・中学校9年間の義務教育期間を通して、児童生徒一人ひとりが心身の発達段階にに応じて、必要な力を柔軟かつ効果的に身に付けることができるよう、学校・家庭・地域の連携・協働のもと、必要な環境整備を進めながら学校教育を推進してまいります。

生涯学習分野においては、誰もが生涯にわたって自らの成長や自己実現に必要な知識や技能を学び、その成果を地域社会に主体的に生かすことができるまちづくりを進めていくため、世代を超えた多様な学びのきっかけづくりや、生き生きと活躍できる環境づくりに取り組んでまいります。

「帯広市教育基本計画」につきましては2019年度で最終年度を迎えることから、(仮称)第二期帯広市教育基本計画市民検討委員会及び帯広市社会教育委員会議の提言を踏まえ、現行計画の理念を引き継ぎつつ、教育分野において取り組むべき課題やこの間の社会情勢の変化により生じた新たな課題への対応等、新しい時代にふさわしい教育を行うため、地域の資源や将来の社会を見据えたうえで、次期教育基本計画を策定してまいります。

2. 主な取り組み

(1) 次代を担う人づくり

小学校においては、新学習指導要領への円滑な移行に向け、中学年での外国語活動、高学年での外国語科授業時間数の増加に伴い、外国語指導講師(ALT)を増員してまいります。加えて、小中学校の長期休業日を3日間短縮し、自然災害などによる休校に伴う授業時数不足に備えた対応や放課後の児童生徒の活動時間の確保等をはかってまいります。

学校給食については、食材価格の高騰により、必要な食材の調達に支障をきたすことから、給食費の改定を行い、児童生徒の健やかな成長のため、安全・安心な地場産食材を活用した帯広らしい給食を提供してまいります。

帯広南商業高等学校については、十勝管内唯一の商業専門高校として、地域社会で即戦力となる豊かな教養を身に付けた人材育成を目指してまいります。

生涯学習においては、企業・大学・団体・個人など様々な主体と連携・協力しながら、市民大学講座や創造活動センター講座など多様な学習機会を提供してまいります。

また、スポーツを通じた交流や、健康・体力づくりを進めるため、第8回フードバレーとかちマラソン大会の開催や総合型地域スポーツクラブの設立支援などに取り組んでまいります。

（２）ともに学びきずなを育む地域づくり

文化芸術の振興については、４年ぶりとなる市民オペラ公演など市民の文化芸術活動の支援及び文化芸術に触れる機会の提供に取り組んでまいります。

百年記念館では、十勝・帯広の開拓や産業の形成を紹介する特別企画展を開催するなど、地域の歴史や文化を学び、郷土理解を深める機会を提供してまいります。

スポーツの振興については、第34回日本クラブユースサッカー選手権（U-15）大会の開催など、多くの人々が十勝・帯広を訪れる全国規模のスポーツ観戦の機会を創出してまいります。

（３）基本目標を実現するための基盤づくり

帯広市エリア・ファミリー構想を基盤として、各エリアの状況に応じた小中一貫教育の推進をはかり、義務教育９年間を通じた連続性・系統性に配慮した教育に取り組んでまいります。併せて、地域と連携した取り組みを進めるコミュニティ・スクールについては、モデル校を指定し、推進してまいります。また、大空中学校の小規模化の影響を緩和し、教育環境の充実と活力ある学校づくりを進めるため、大空小学校と大空中学校を統合し、施設一体型の義務教育学校の開校を目指してまいります。

このほか、大型提示装置、児童用パソコンの一部タブレット化などICT化の促進や、小学校高学年の机・椅子の更新、スクールロッカーの整備など学習環境の充実をはかるほか、教職員の働き方改革の実現に向け、「帯広市立学校における教職員の働き方改革推進プラン」に基づく取り組みを進めてまいります。

社会教育、文化、スポーツ施設については、長期的な視点を持って施設機能が効果的に発揮するよう、個別施設計画を策定するほか、新たな総合体育館の2020年3月供用開始に向け、施設命名権の募集など開館に向けた準備を進めてまいります。

また、おびひろ動物園の魅力向上と今後の整備の方向性を示す「（仮称）おびひろ動物園魅力アップ推進プラン」及び子どもの自主的な読書活動の推進に取り組むための方向性を示す「第四期帯広市子どもの読書活動推進計画」を策定してまいります。

○ 令和元年度予算決算

単位 (円)

科 目	予算現額	決算額	翌年度繰越額	主な内容
教育費	6,203,230,000	5,432,495,432	536,851,000	
教育総務費	239,462,000	218,592,412	0	
教育委員会費	4,985,000	4,710,240	0	教育委員報酬及び会議等の出席に係る旅費等
事務局費	100,309,000	86,953,078	0	事務局運営費、教職員管理費、奨学金貸付事業等
指導研修費	93,144,000	88,056,864	0	教育相談員・学校評議員・外国人講師に係る報酬等
教育研究所費	20,622,000	19,911,645	0	所員報酬、教育研究所運営費等
教職員住宅費	20,402,000	18,960,585	0	教職員住宅の修理費、教職員住宅の建設工事費等
小学校費	1,819,959,000	1,359,863,708	401,967,000	
学校管理費	818,654,000	783,712,081	0	小学校管理費、プール・リンク造成・維持管理費、学校保健事業費、スクールバス運行事業費等
学校営繕費	37,746,000	36,926,782	0	学校営繕費
教育振興費	240,891,000	225,097,226	0	教材教具購入費、就学援助費、学校図書資料整備費、教育用コンピュータ管理費等
施設整備費	722,668,000	314,127,619	401,967,000	学校・学習環境整備費、リニューアル改修事業費
中学校費	768,672,000	616,086,242	124,303,000	
学校管理費	322,926,000	310,751,349	0	中学校管理費、リンク造成・維持管理費、学校保健事業費、スクールバス運行事業費等
学校営繕費	21,837,000	21,580,108	0	学校営繕費
教育振興費	186,084,000	176,435,641	0	教材教具購入費、就学援助費、学校図書資料整備費、教育用コンピュータ管理費等
施設整備費	237,825,000	107,319,144	124,303,000	学校・学習環境整備費、リニューアル改修事業費
高等学校費	134,226,000	116,225,709	10,281,000	
学校管理費	62,958,000	56,849,552	0	南商管理費、学校保健事業費、外国人英語指導助手報酬等
学校営繕費	2,214,584	2,213,584	0	南商営繕費
教育振興費	18,574,000	17,928,333	0	教材教具購入費、学習環境管理費、キャリア教育推進費
施設整備費	50,479,416	39,234,240	10,281,000	学校環境整備費

単位 (円)

科	目	予算現額	決算額	翌年度繰越額	主な内容
	社会教育費	845,276,000	829,619,842	0	
	社会教育総務費	11,487,000	10,405,007	0	社会教育委員、嘱託職員等報酬、講座開催経費等
	文化振興費	22,572,000	20,806,537	0	文化団体等補助金、事業開催負担金、文化財経費等
	とかちプラザ費	213,978,000	211,520,563	0	とかちプラザ管理費
	市民文化ホール費	153,760,000	153,677,964	0	市民文化ホール管理運営費、機器類リース料等
	百年記念館費	74,924,000	71,638,240	0	百年記念館管理運営費、学芸調査員等報酬、講座開催経費等
	図書館費	200,888,000	197,579,946	0	図書館管理運営費、図書資料等整備費、郷土資料関連経費等
	動物園費	139,328,000	135,809,449	0	動物園管理運営費、遊具管理費、施設修繕等
	市民ギャラリー費	28,339,000	28,182,136	0	市民ギャラリー管理費
	保健体育費	2,395,635,000	2,292,107,519	300,000	
	保健体育総務費	69,038,000	59,300,734	0	スポーツ行事・活動関係経費、団体育成・大会開催費、学校開放経費、指導者育成経費等
	体育施設費	1,159,000,000	1,152,916,155	0	社会体育施設管理運営費、施設修繕・改修費等
	学校給食センター費	1,167,597,000	1,079,890,630	300,000	学校給食センター管理費、賄材料費、委託料、学校給食食育推進費等

※翌年度繰越額は、繰越明許費

○ 令和元年度における主な取組み一覧

(1) 次代を担う人づくり

① 知識・技能の習得

展 開 方 策	主 な 取 組 み
子どもの学力・学習意欲を高める教育の推進	全国学力・学習状況調査、C R T 標準学力検査、おびひろっ子学び支援事業、おびひろっ子絆支援事業、外国人講師の小中学校派遣、教育課程検討委員会（小学校）、学力向上推進班（学力向上推進プロジェクトチーム含む）、データベース教材の作成（小中学校社会科 日本地図に関する問題）、南商での外国人英語指導助手配置（1 人）、ぶっくーる便（503 件、17,605 冊）、パスファインダー（全 49 種類のうち 16 種類改訂）、とかちジュニア文芸誌第 10 号（応募者 402 人、475 作品）、夏休みの自由研究応援！～動物園で体験しよう～（57 人）、自由研究応援！冬芽（ふゆめ）探検隊（15 人）、小説・童話教室（3 人）、俳句教室（4 人）、詩教室（3 人）、小学生の 1 日飼育係（2 回、22 人）、親子で挑戦！動物園のミステリークイズ（2 回、54 人）、幼児・児童動物画写生コンクール（276 人）、小学生のための動物園塾（1 回、12 人）
個人や社会のニーズに応じた学習活動の推進	コミュニティ講座（23,058 人）、生涯学習情報誌（情報誌「まなびや」成人向け 4 回、小学生向け 2 回）、自然観察会（20 人）、郷土学習見学会（59 人）、博物館講座（557 人）、連続講座（128 人）、地質講座（180 人）、体験教室（46 人）、企画展（7,205 人）、収蔵作品展（1,183 人）、レファレンス、地域防災訓練（帯広第四中、860 人）、冬季防災訓練（川西中、225 人）、防災セミナー in とかち 2019（229 人）、防災グッズ展（885 人）、学校での避難訓練（全小中学校）、防災リーダー研修会（97 人）、防災講師派遣事業（10 団体、434 人）、防犯グッズ展、防犯講話（30 団体、842 人）、交通安全教室（339 回、32,855 人）、消費者講座・講演会（9 回、393 人）、地域消費者講座（14 回、411 人）、消費者被害予防教育講座（14 回、1,127 人）、みんなの消費生活展（1,322 人）、防災出前講座（82 団体、2,702 人）、親子防災講座（27 団体、3,716 人）
職業に関する教育・学習活動の推進	おびひろキッズタウン 2019（24 企業等、児童 367 人）、南商インターンシップ事業（協力事業者 52 事業者）
高度情報化に対応した教育・学習活動の推進	教育用パソコンの活用（1,505 台）、教育用コンピュータ機器の更新、携帯電話販売店の立入調査（28 店）、帯広市ネット非行対策講演会

② 豊かな心の育成

展 開 方 策	主 な 取 組 み
子どもの社会性の育成	郷土体験学習（小学 4 年生対象）、自然体験学習（中学生対象）、適応指導教室の開設、教育相談員の配置、いじめ・不登校・非行等に関する対策委員会の設置、生徒指導アドバイザーの派遣、南商におけるボランティア活動（32 クラブ）、放課後子ども広場の実施（25 校、延べ 684 回、延べ 21,223 人）、中学生からのメッセージ（市内各中学生 14 人）、成人の集い（1,142 人）、地域子ども会リーダー宿泊研修会（144 人）、ジュニアリーダー養成講座「あすかの会」（24 人）、ジュニアリーダー「あるふあの会」（35 人）、子ども王国の開催、児童会館での体験活動（文化関連事業 6,474 人、宿泊学習等 3,411 人）、巡回指導（446 回）、声かけ指導（575 人）、ヤングテレホン相談（118 件）、子ども親善訪問団相互派遣事業（徳島市 6 人派遣・6 人受入、松崎町 10 人派遣・10 人受入、大分市 6 人派遣・6 人受入）
豊かな情操の育成と 生きがいづくり	学校図書館の図書資料の整備・充実（4,203 冊）、司書教諭の配置（30 校、30 人）、コミュニティ講座（23,058 人）、高齢者学級（182 人）、生き生きふれあい祭（わかば会）、第 38 回おびひろ市民芸術祭（入場者数 22,131 人）、大ホールでスタインウェイを弾いてみよう！（47 人）、ティータイムコンサート（94 人）、デフ・パペットシアター・ひとみ「河の童一かわのわっぱ」（123 人）、半崎美子「明日を拓くコンサート」（519 人）、NHK 交響楽団演奏会（986 人）、弦巻楽団「ユーキャン・ハリー・ラブ」（161 人）、NHK 公開番組「みんな DE どーもくん！」（1,049 人）、親と子のわくわく音楽会（885 人）、札幌交響楽団 特別演奏会（690 人）、帯広美術館特別展「北斎展 師と弟子たち」（16,075 人）、春風亭一之輔のドッサリまわるぜ 2019（378 人）、公共ホール音楽活性化発展継続事業 Premium concertⅡ 中野翔太×田中拓也（213 人）、こどもオペラ「ヘンゼルとグレーテル」（194 人）、幼児向けのプチコンサート（116 人）、第 6 回帯広市民オペラ「カルメン」（2,077 人）、帯広市文化賞等（4 個人・1 団体）、市民文藝第 59 号（応募者数 111 人、1,270 作品）、とかちジュニア文芸誌第 10 号（応募者数 402 人、475 作品）、語り手育成講習会（1 講座、1 回、26 人）

③ 健やかな体づくり

展 開 方 策	主 な 取 組 み
健やかな体を育むスポーツ活動等の推進	帯広市体力・運動能力調査、スポーツ教室・講習会（227 回）、スポーツ・レクリエーション事業（3 事業）、総合型地域スポーツクラブ（6 団体）、スポーツ少年団登録（75 団体、1,793 人）

食育の推進と学校給食の充実	学校食育推進会議及び食育推進部会の設置、食育レシピ集の作成・配布、食育講演会、栄養教諭等による給食指導・教科指導、「ふるさとの日」給食の実施（9月～11月の各月・3コース各1日）、親子で給食づくり（2回、52人）、食育指導専門員の派遣、酪農教育ファームでの自然体験学習（3校、65人）、農業技術センター展示ほ場見学（16校、941人）、帯広の森サラダ館学童農園（22団体、1,538人）、各種イベントにおける食育推進ブース出展（3回）、食育推進サポーター登録（団体・個人34件）、保育所での食育講座（8所、8回、158人）、保育所給食試食会（869人）、こどもクッキング（43回）
---------------	--

④ 人間を尊重し自然と共生する人づくり

展 開 方 策	主 な 取 組 み
人権・福祉・男女共同参画に関する教育・学習活動の推進	児童虐待防止推進月間パネル展、児童虐待防止啓発カードの作成、男女共同参画セミナー（1回、52人）、女と男の一行詩作品募集・展示（589作品、389人）、男女共同参画情報誌の発行（年2回、各3,000部）、男女共同参画講座（3回、85人）、デートDV予防講座（4回、965人）、UD講座の開催（6回、412人）、手話に関する出前講座（4回）
グローバル化に対応した教育・学習活動の推進	小中学校に外国人講師派遣、長期休業中に学校の希望に応じて外国人講師派遣、小学校での「Obihiro サマーイングリッシュ・ウィンターイングリッシュ」の開催、南商での外国人英語指導助手配置（1人）、マディソン市派遣（生徒5人、引率教員1人）、高校生相互派遣事業（米国スワード市4人派遣・3人受入、中国朝陽市4人派遣・4人受入）、市民交流団体の国際交流活動への支援（2団体）
環境に関する教育・学習活動の推進	帯広らしい環境教育プログラム集の発行・配布、帯広らしい環境教育ホームページによる情報発信、児童会館科学展示室（入場者27,301人）、プラネタリウム上映（入場者14,586人）、児童会館での科学教室・工作教室等（5,714人）、出前環境教室（34件、989人）、環境にやさしい活動実践校認定更新（全41校、小26校・中14校・高1校）、ごみ懇談会・エコエコ紙芝居・環境学習支援事業（合計47回、1,679人）、おびZoo 寺子屋（4回、59人）、1日飼育係【中学生以上】（6回、20人）、親子で挑戦！動物園のミステリークイズ（2回、54人）、夜の裏側探検隊（2日、54人）、スポットガイド（随時）、ふれあい教室（71組、2,359人）、よるの動物園（4日、6,296人）、秋の裏側探検隊（1日、46人）、冬の裏側探検隊（1日、43人）

(2) ともに学びきずなを育む地域づくり

① ふるさとの理解の促進

展 開 方 策	主 な 取 組 み
子どものふるさと教育の推進	郷土体験学習（小学4年生対象）、自然体験学習（中学生対象）、ふるさと学習農園（2校）、アイヌ民族文化理解促進指導用教材の作成（副読本おびひろ）
地域に関する学習活動の推進	地域の学習情報・指導者情報のホームページでの提供、市民大学講座（57講座、受講者4,803人）、コミュニティ講座（23,058人）、高齢者学級（182人）、生涯学習情報誌の発行（情報誌「まなびや」成人向け4回、小学生向け2回）、アイヌ民族文化情報センター「リウカ」の活動、埋蔵文化財センターの活動

② きずなづくり・まちづくり

展 開 方 策	主 な 取 組 み
まちづくりへの参画を促進する教育・学習活動の推進	中学生からのメッセージ（市内各中学生14人）、令和2年成人の集い（1,142人）、地域子ども会リーダー宿泊研修会（144人）、ジュニアリーダー養成講座「あすかの会」（24人）、ジュニアリーダー「あるふあの会」（35人）、南商におけるボランティア活動（32クラブ）、市民大学講座（57講座、受講者4,803人）、コミュニティ講座（23,058人）、生涯学習情報誌の発行（情報誌「まなびや」成人向け4回、小学生向け2回）、生涯学習コーディネーターの支援、語り手育成講習会（1講座、1回、26人）、百年記念館の常設展示解説（18回）、レコードコンサート（7回）
にぎわいや交流を促進する文化・スポーツの振興	第38回おびひろ市民芸術祭（入場者数22,131人）、明治オーバル利用大会（開催数68大会）、日韓競技大会（開催種目1種目）、スケートキングダム開催（4回）、プロスポーツ大会（1回）、スポーツ合宿誘致（139団体）、フードバレーとかちマラソン大会（8回目）、日本クラブユースサッカー選手権大会（9年連続開催）

(3) 基本目標を実現するための基盤づくり

① 学校・家庭・地域の連携

展 開 方 策	主 な 取 組 み
開かれた学校づくり	公開研究会、地域公開参観日、学校図書館開放事業、教職員住宅の整備（改築：清川小）、学校開放学校数（29校）、学校評議員委嘱（小中学校 186人、南商 5人）、新任学校評議員研修会、学校評議員だより（年 3回）、コミュニティ・スクールの導入（8校 5協議会）、南商学校開放講座（15人）
家庭教育への支援	地域子育て支援センター（6か所、延べ相談件数 4,135件、延べ利用組数 26,821組）、子育てメール（平成 30 年より新規登録は終了。登録数 676件）、子育て応援ボランティア（14団体、169人）、子育て講座（7か所、301回）、子育て応援事業所（310事業所）、家庭教育学級（8学級、91人）、ファミリーサポートセンター事業（681人、1,201件）、子育てガイドブック（2,600冊）、発達支援ガイドブック「あくせす」（350冊）、生活支援ファイル「つながっと」の配付（853冊）、絵本との出会い事業（33回）、あそびの広場（139回、666組、1,490人）、サンデーファミリー事業（11回、145組、398人）、こんにちは赤ちゃん訪問（461回）、小中学生の保育体験・保育ボランティアの交流（23所（園））、高校生と幼児の交流（14所（園））、町内会・老人クラブとの交流（137回）、おはなし会（106回、2,855人）、わくわく♪ドキドキ！！家読（うちどく）にチャレンジ！（1回、107人）、夏休み親子陶芸教室（3回、101人）、冬休み親子陶芸教室（2回、137人）、親子七宝教室（2回、54人）、親子で挑戦！動物園のミステリークイズ（2回、54人）、親子で飼育体験（2回、7組）
家庭や地域による教育支援の推進	こども学校応援地域交付金の交付、「こども応援！みらいカフェ」の実施、学校支援地域本部事業の運営（14本部 40校）、子どもの見守り活動実施（全小中学校 40校）、子ども 110 番の家設置登録（1,084所）、放課後子ども広場の実施（25校、延べ 684回、延べ 21,223人）

② 教育を支える人材の育成

展 開 方 策	主 な 取 組 み
教員の人間力・指導力の向上	学校指導訪問での指導・助言、教員リーダー育成講座（3 回）、パソコン研修講座（延べ 639 人）、研究紀要「帯広の子どもの学力」発行、全道教科担当指導主事研究協議会、教育課程検討委員会（小学校）、帯広市教育研究会事業補助、公開研究会の実施
地域人材の発掘・育成・活用	地域の指導者の登録者数（192 人）、第 17 回新人演奏会（400 人）帯広市文化賞等（4 個人・1 団体）、スポーツ指導者の講習会・研修会（開催数 1 回）、少年団指導者認定講習会（2 回）、スポーツ大会派遣補助（215 件、868 人）、帯広市スポーツ協会（帯広市体育連盟）加入団体（44 団体、45,305 人）、ほっとドリームプロジェクト（競技者の育成事業 4 回、底辺の拡大事業 5 回）

③ 教育環境の充実

展 開 方 策	主 な 取 組 み
学校教育の環境整備	校務用コンピュータの更新（40 台）・増設（20 台）、ボイラー改修（小学校 3 校、南商）、トイレ大規模改修（小学校 1 校）、机・椅子更新（清川小（全学年）、小学校 21 校（5・6 年生）2,560 セット）、生徒用スクールロッカーの整備（中学校 6 校（全学年））、「帯広市子供安全ネットワーク」の運用と改善
社会教育の環境整備	とかちプラザ暖房用ボイラー改修工事、帯広市民文化ホール非常用制御用蓄電池更新、百年記念館ボイラー・陶芸窯・消防設備・4 号室内修繕、動物園路舗装・キリン舎水道修繕、ブリーディングローンによるアミメキリンの導入、新総合体育館整備運営事業
保育・体験活動の環境整備	へき地保育所の認可化に向けた改修工事（4 所）、児童保育センターのクラブ増設に向けた整備（4 所）、認定こども園の施設整備費補助（2 所）

④ 教育機会の確保

展 開 方 策	主 な 取 組 み
就学・進学への支援	就学援助認定（小 1,394 人、中 877 人）、私立高等学校生徒授業料補助（192 人）、奨学金貸付（大学生 41 人、専門学校生 4 人、高校生 2 人）、幼稚園就園奨励費の支給（868 人）、帯広市高等学校間口対策協議会の開催（1 回）
健やかな発達の支援	就学に関する教育相談の実施（468 件）、特別支援教育助手の配置（9 人）、特別支援教育補助員の配置（60 人）、生活介助員の配置（28 人）、特別支援学級の運営、障害者高等教育補助（104 人）、特別支援保育（26 所）

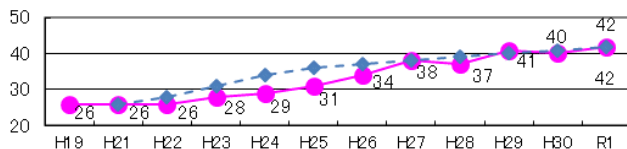
⑤ よりよい教育のためのしくみづくり

展 開 方 策	主 な 取 組 み
魅力ある学校づくりの推進	おびひろっ子学び支援事業、おびひろっ子絆支援事業（全小中学校 40 校）、小規模特認校就学（児童 2 人）
学校教育のしくみの工夫改善	大空地区義務教育学校準備協議会の設置・開催（全 5 回）、帯広市幼保小中連携推進委員会の設置、帯広市エリア・ファミリー構想の推進（市内全 14 エリアで協議の場を設置）
社会教育施設の利用の促進	社会教育施設連携事業の充実、帯広の森テニスコート人工芝改修工事、ホームページでのスポーツ活動情報提供（24 項目）
地域の実情に応じた教育行政の推進	教育懇談会（4 か所、96 人）、教育懇談会の実施概要及び教育委員会会議の会議録のホームページでの公開

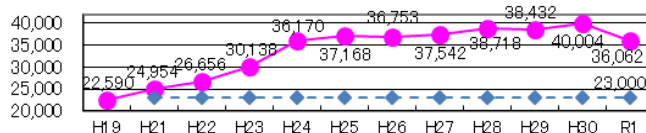
○ 成果指標の推移

※実線は実績値。点線は目標値。

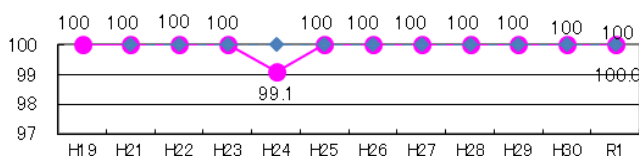
① 個別目標 1-1：知識・技能の習得



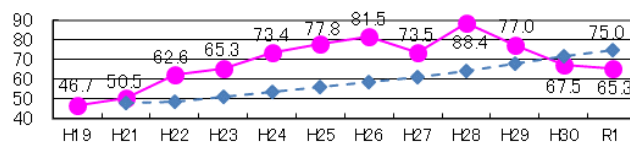
参考図1. 標準学力検査の目標基準到達観点数 (観点)



参考図2. 帯広市教育委員会が開催する講座等の参加者数 (人)

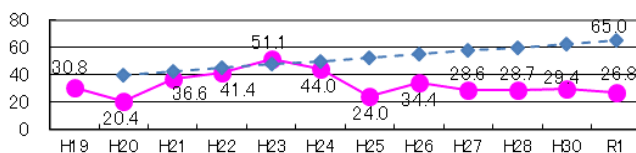


参考図3. 帯広南商業高等学校の就職率 (%)

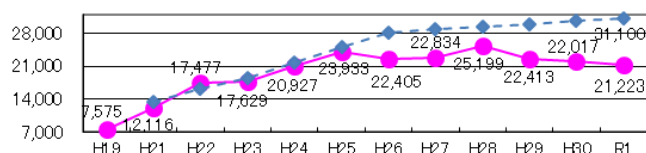


参考図4. 帯広南商業高等学校における検定の3種目以上1級取得率 (%)

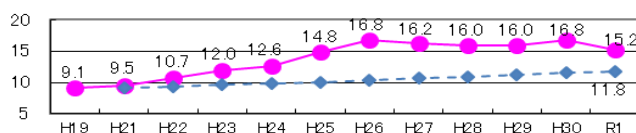
② 個別目標 1-2：豊かな心の育成



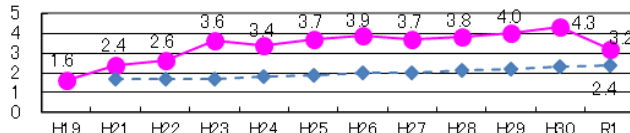
参考図5. 不登校生徒の復帰率 (%)



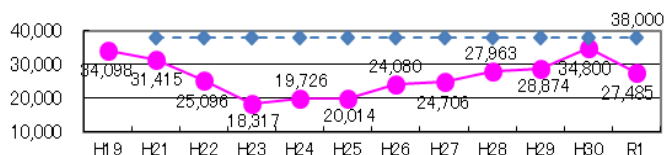
参考図6. 子どもの居場所づくり参加児童数 (人)



参考図7. 小学校図書館の児童1人当たり貸出冊数 (冊)



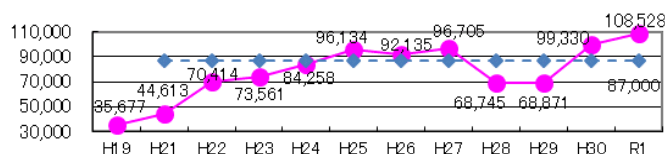
参考図8. 中学校図書館の生徒1人当たり貸出冊数 (冊)



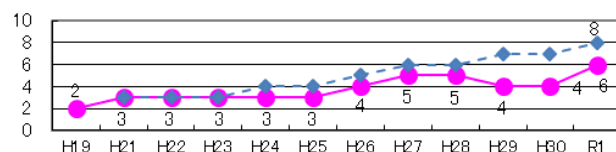
参考図9. 鑑賞事業の入場者数 (人)

※実線は実績値。点線は目標値。

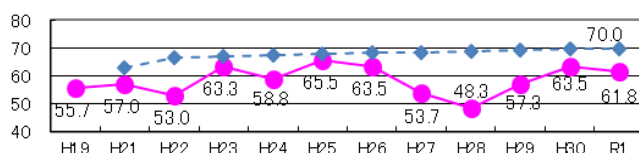
③ 個別目標１－３：健やかな体づくり



参考図10. スポーツ大会、スポーツ教室・講習会の参加者数（人）

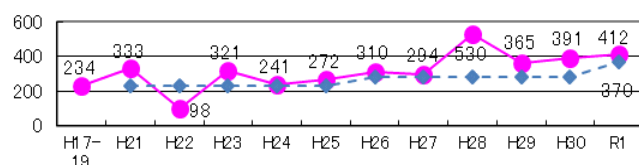


参考図11. 総合型地域スポーツクラブ設置数（カ所）

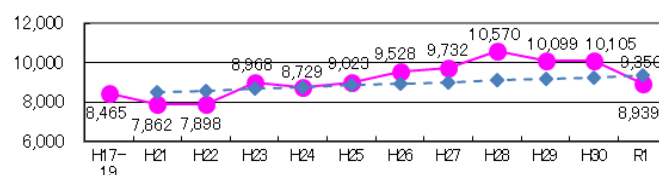


参考図12. 学校給食における地場産野菜の導入率（％）

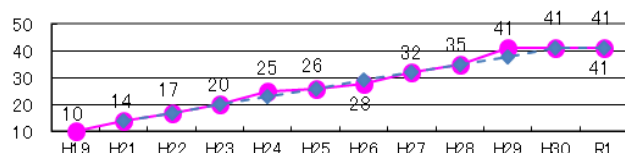
④ 個別目標１－４：人間を尊重し自然と共生する人づくり



参考図13. UDに関する講座等への参加者数（人）

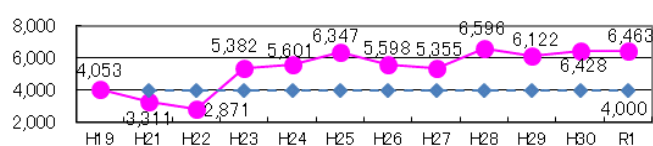


参考図14. 国際理解推進事業・国際交流事業の参加者数（人）



参考図15. 環境にやさしい活動実践校数（校）

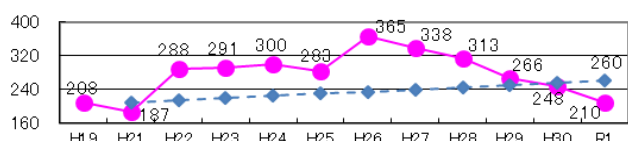
⑤ 個別目標２－１：ふるさとの理解の促進



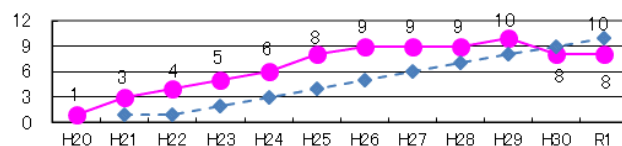
参考図16. 地域について学ぶ講座等への参加者数（人）

※実線は実績値。点線は目標値。

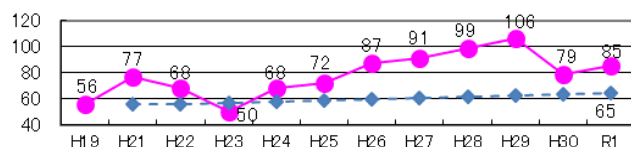
⑥ 個別目標2-2：きずなづくり・まちづくり



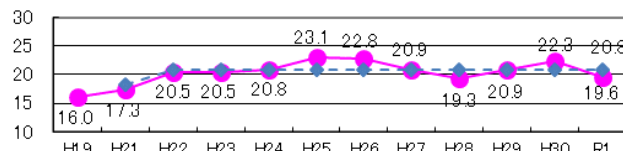
参考図17. 青少年リーダー養成事業参加者数（人）



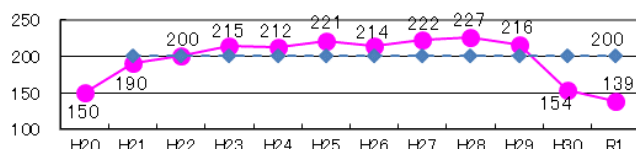
参考図18. 学習成果の活用事例数（件）



参考図19. 発表・活動の場への参加団体数（団体）

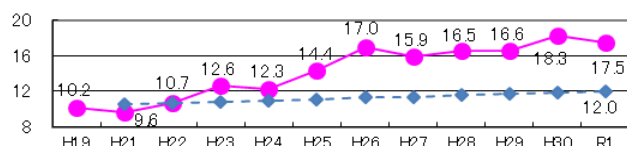


参考図20. 各種スポーツ大会の観客数（万人）

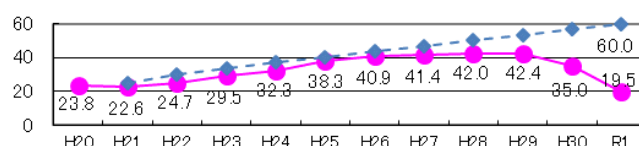


参考図21. スポーツ合宿団体数（団体）

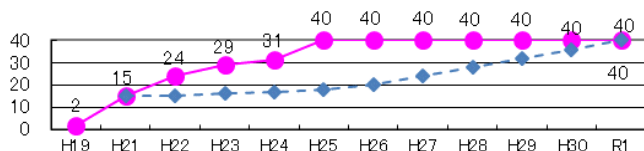
⑦ 基本方向1：学校・家庭・地域の連携



参考図22. 子ども1人当たりの子育て支援センター等の利用回数（回）



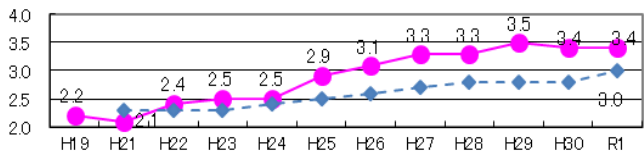
参考図23. 子育てメール通信の利用率（%）



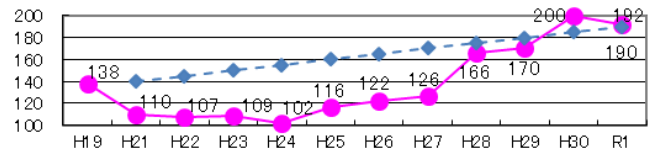
参考図24. 学校支援ボランティアを活用した学校数（校）

※実線は実績値。点線は目標値。

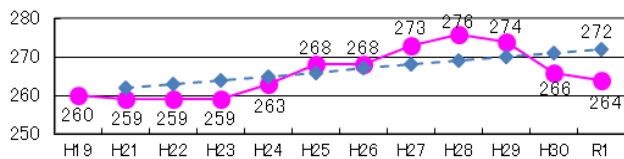
⑧ 基本方向2：教育を支える人材の育成



参考図25. 教職員1人当たりの研修受講回数（回）

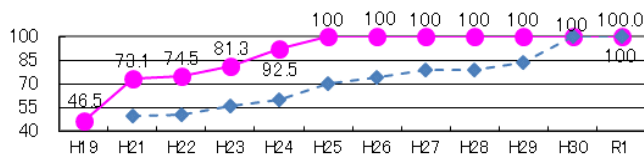


参考図26. 地域の指導者の登録者数（人）

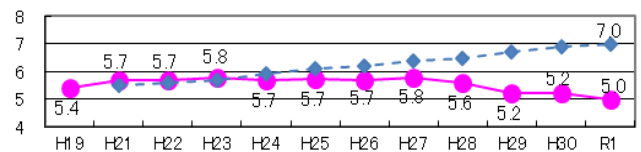


参考図27. ホームページで芸術・文化活動を紹介する文化団体数（団体）

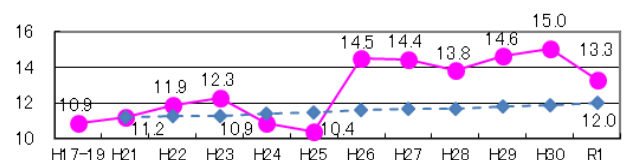
⑨ 基本方向3：教育環境の充実



参考図28. 小・中学校校舎の耐震化率（%）

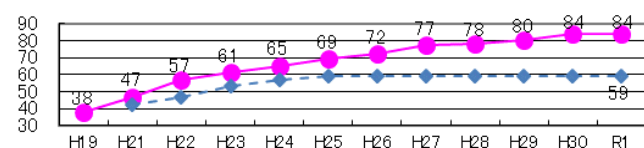


参考図29. 市民1人当たりの図書等の貸出点数（点）



参考図30. 児童会館の入館者数（万人）

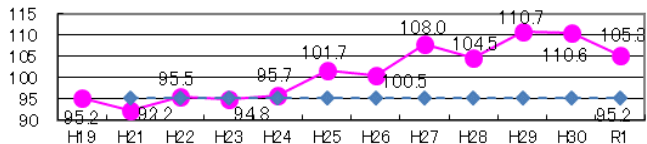
⑩ 基本方向4：教育機会の確保



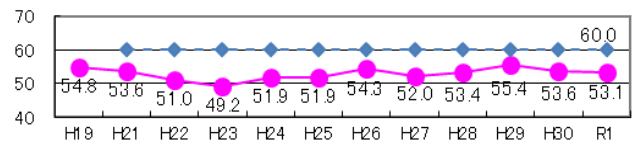
参考図31. 特別支援学級の設置数（学級）

※実線は実績値。点線は目標値。

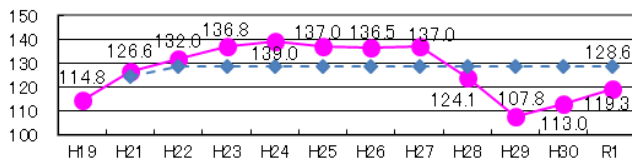
⑪ 基本方向5：よりよい教育のためのしくみづくり



参考図32. 社会教育施設の総利用者数（万人）



参考図33. 文化施設の利用者数（万人）



参考図34. スポーツ施設の利用者数（万人）

○ 課題及び今後の方向性に対する令和元年度の取組み

(1) 次代を担う人づくり

① 知識・技能の習得

展 開 方 策	前年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和元年度の取組み
子どもの学力・学習意欲を高める教育の推進	○学習指導、授業改善、教職員への学力向上研修講座の開催のほか、学習習慣や生活習慣の改善をすすめる	○学力向上プロジェクトチームを活用した研修講座の開催。エリア・ファミリーを中心としたノーテレビデーなどの実施
個人や社会のニーズに応じた学習活動の推進	○講座内容の見直しや新規講座の実施、広範な情報発信を行い、新規受講者の確保に取り組む	○社会情勢や市民のニーズを踏まえた多様な学びの機会の提供
職業に関する教育・学習活動の推進	○小中学校において、キャリア教育における指導・助言を行う ○帯広南商業高等学校において、資格取得への意識付けをはかる	○教育課程編成、学校訪問時におけるキャリア教育についての指導・助言 ○資格取得のための講習や補習の実施、合格者の掲示による意識付けの実施
高度情報化に対応した教育・学習活動の推進	○SNSの正しい使い方やインターネットの安全利用に関する啓発活動に取り組む	○関係機関との連携。SNSの正しい使い方やインターネットの安全利用に関する啓発活動の実施。安全なインターネット利用の指導に役立てるため、生徒指導連絡協議会とネット非行対策講演会を開催

② 豊かな心の育成

展 開 方 策	前年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和元年度の取組み
子どもの社会性の育成	○不登校復帰に向け、個々や保護者への相談体制の充実、教育相談員の配置日数の調整等の工夫をすすめる ○道徳において、指導訪問などで授業や指導方法の指導・助言を行う ○子どもの居場所づくりにおいて、魅力ある企画講座の実施やスムーズな事業運営に取り組む	○こころの教室相談員やスクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーの学校派遣。各種教員研修の実施 ○指導訪問などで指導・助言を行い、検定教科書などを活用した授業の改善 ○わくわくこどもまつり・プラザまつりでPR活動を行い、幅広い市民への周知事業を実施。また、居場所通信を通じた、活動内容の情報を共有

豊かな情操の育成と生きがいづくり	○魅力ある蔵書整備、運営の担い手の確保や専門性の向上をはかり、活用しやすい学校図書館づくりに努める ○市民協働による鑑賞機会の提供に向けた仕組みづくりを検討し、芸術・文化に関する情報発信に努める	○学校図書ボランティア等の読み聞かせ等の継続。講習会開催の検討。図書館において「リユース会」による資料の提供や「ぶっくーる便」の活用、「語り手育成講習会」の実施。「学校図書館クリニック」への図書館司書の派遣 ○民間活力を活用した鑑賞事業の仕組みづくりの検討、広報おびひろや市ホームページ、SNS 等による情報発信
------------------	---	--

③ 健やかな体づくり

展 開 方 策	前年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和元年度の取組み
健やかな体を育むスポーツ活動等の推進	○より多くの市民がスポーツに親しみ、楽しむことのできる機会づくりに努める ○フッ化物洗口について、児童や保護者、学校への周知とともに、効率的な実施方法や体制を検討する	○フードパレーとかちマラソン大会など、市民参加型のスポーツ大会や教室の開催 ○啓西小及び広野小において、新規実施に向け、保護者説明会を実施
食育の推進と学校給食の充実	○食育指導専門員と栄養教諭の連携強化と授業改善に努め、食に関する指導の充実をはかる ○地場産野菜の導入に向けて、天候に影響されやすい収穫期の確保と端境期の使用量・品目拡大に取り組む	○食育指導専門員と栄養教諭の連携をはかり、啓発資料を活用した児童生徒への食に関する指導の実施。学校給食センターにおける栄養教諭の業務予定を調整し、活動時間を確保 ○地場産冷凍野菜の品目を拡大

④ 人間を尊重し自然と共生する人づくり

展 開 方 策	前年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和元年度の取組み
人権・福祉・男女共同参画に関する教育・学習活動の推進	○ユニバーサルデザインの意識啓発事業のあり方について検討する ○セミナーや講座の開催など、男女平等意識の浸透・定着をはかる ○差別に関する相談など、障害への理解促進に取り組む	○UD 講座開催手法の見直しの検討 ○男女平等の意識の定着・浸透をはかるための、セミナーや講座の開催 ○手話に関する出前講座の実施や援助や配慮を知らせるためのヘルプマークの配布により、障害のある人に対する理解を促進
グローバル化に対応した教育・学習活動の推進	○新学習指導要領や小学校外国語活動の教科化などに対応した指導のあり方を考え、外国語指導講師の効果的な派遣体制や指導の充実について検討する	○外国人講師を増員し、小学校への派遣時間数の増。中学校での夏季・冬季休業日のサマーイングリッシュ・プラスの開催

環境に関する教育・学習活動の推進	○出前環境教室の充実をはかるとともに、環境教育プログラム集などにより情報を発信し、帯広らしい環境教育を推進する	○体験型環境教育の充実をはかり、環境問題についての学びを深める。環境教育プログラム集の発行・配布。ホームページによる情報発信、意見交換会の実施
------------------	---	---

(2) ともに学びきずなを育む地域づくり

① ふるさとの理解の促進

展 開 方 策	前年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和元年度の取組み
子どものふるさと教育の推進	○小中学校の体験活動等のプログラムの見直しなどを検討する ○百年記念館で出前講座の教材の更新や新たなプログラムづくりに取り組む	○中学校自然体験学習では、数校で従来のプログラムに合わせて、自然観察や野外炊飯の学校独自メニューの実施 ○博物資料に触れるなど体験を重視したプログラム「ミニ百年記念館」を小学校などで実施
地域に関する学習活動の推進	○地域の文化や歴史を学び、理解を深める機会を提供するほか、効果的な周知方法を検討する ○リウカの利用や出前講座の周知を積極的に行うほか、アイヌの古式舞踏の保存・伝承団体への支援、イオル再生事業に取り組む	○図書館で、郷土の歌人である中城ふみ子の名を冠した全国公募短歌賞である「第9回中城ふみ子賞」の実施に向けた準備を行ったほか、郷土に関する講演会の実施。百年記念館で、博物館講座や企画展を開催し、地域理解を深める機会を提供 ○小学校向けの体験教育をリウカで行うほか、鹿笛づくりなどの出前授業を開催し、アイヌ文化について理解を深める機会を提供

② きずなづくり・まちづくり

展 開 方 策	前年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和元年度の取組み
まちづくりへの参画を促進する教育・学習活動の推進	○青少年体験活動において、事業を積極的に周知し、参加しやすい体制づくりを検討する ○社会教育施設において、活動できる人員の充実に努め、知識・技術の専門性を活かした活動の場を提供する	○青少年育成団体の活動等について広く市民に周知をはかり、協力者が活動しやすい体制づくりの実施 ○図書館の講座受講者がボランティアのおはなし団体を結成して活動。博物館ボランティア養成講座を開催し、博物館活動を行う人材を育成
にぎわいや交流を促進する文化・スポーツの振興	○文化団体等が意見・情報交換する機会の提供や情報収集手法を検討する ○帯広市スポーツ合宿・大会誘致推進実行委員会などと連携し、新たなチームの確保に向け、北海道をはじめ首都圏への誘致活動の強化をはかる	○ホームページを活用した団体情報の提供、発表の場や、参加の周知 ○日本クラブユースサッカー選手権大会の開催継続やプロ・社会人による野球交流会の開催など、全国レベルのスポーツ観戦機会の提供

(3) 基本目標を実現するための基盤づくり

① 学校・家庭・地域の連携

展 開 方 策	前年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和元年度の取組み
開かれた学校づくり	○最新情報を学校評議員に提供するほか、研修機会や制度の活用の充実に努める ○教職員や地域住民への周知をすすめ、コミュニティ・スクールの導入に取り組む	○学校評議員通信や研修会を通じて、情報の提供や評議員の資質を向上 ○コミュニティ・スクールの趣旨等について研修会や説明会を開催し、地域住民等の理解を得ながらコミュニティ・スクールの導入を推進
家庭教育への支援	○すこやかネットを通じて、これまでメールでは提供できなかった動画の視聴や子育て施設マップなど、子育てに役立つ情報の提供に取り組む	○市の子育て情報やイベントのお知らせの配信。離乳食の与え方、サークルや各種教室、地域子育て支援センター、わらべうたの紹介等の動画配信。施設マップ等の情報提供
家庭や地域による教育支援の推進	○地域の人材発掘や活動内容の充実に努めるほか、団体と人をつなぐコーディネーターのあり方を検討する	○広報折込チラシによる活動の周知など広報活動に取り組むとともに、コーディネーターの養成を目的とした研修会を開催

② 教育を支える人材の育成

展 開 方 策	前年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和元年度の取組み
教員の人間力・指導力の向上	○積極的な参加の呼びかけのほか、教員リーダー育成事業において、教員の資質能力などの向上をはかる ○勤務状況の改善に向けた取り組みを推進する	○「教員リーダー育成」の趣旨に沿った、「ONE-UP 研修会」の実施 ○「帯広市立学校における教職員の働き方改革推進プラン」に基づく取り組みの実施
地域の人材の発掘・育成・活用	○ホームページに掲載していない文化団体への積極的な周知をはかり、団体数の確保に取り組む	○ホームページでの周知のほか、団体への声掛け等を実施

③ 教育環境の充実

展 開 方 策	前年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和元年度の取組み
学校教育の環境整備	○計画的かつ継続的な修繕により、教育環境の改善と施設の長寿命化及び機能・性能の改善に努める	○「帯広市学校施設長寿命化計画」に基づいた計画的修繕の実施
社会教育の環境整備	○図書館において、年齢に応じたブックリストの配布や蔵書の充実など、利用者サービスの向上に取り組む ○社会教育施設の機能を維持できるよう、施設状況を把握し、設備等の修繕と更新を行う	○子育て応援バックの貸出や高校生の紹介本の設置 ○市民文化ホールの非常用制御用蓄電池更新。とかちプラザの暖房用ボイラー改修。帯広の森テニスコート人工芝改修工事を行い、競技環境を維持。よつ葉アリーナ十勝の供用開始。図書館の中央監視装置応急修繕。動物園の園路舗装修繕、キリン舎水道修繕
保育・体験活動の環境整備	○老朽化した保育所や児童保育センターの整備、低年齢児の受入枠の確保に向けた取り組みなど、質の高いサービス提供ができる体制づくりをすすめる	○へき地保育所の認可化に向けた改修工事、児童保育センターのクラブ増設にむけた整備、低年齢児の受入れのための認定こども園の施設整備に対する補助

④ 教育機会の確保

展 開 方 策	前年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和元年度の取組み
就学・進学への支援	○国、道や他市町村の動向も踏まえながら、就学援助等の制度を適切に運営する ○高校の間口を維持・確保するため、情報収集や要望活動を行う	○国の補助基準改定を踏まえた就学援助支給単価の改定 ○「帯広市高等学校間口対策協議会」を中心とした情報収集
健やかな発達の支援	○特別支援教育補助員や助手、生活介助員を各学校の実情を踏まえて配置するほか、合理的配慮に基づいた体制や環境の整備に努める	○特別支援教育補助員の増員、難聴児用FM送受信機の整備

⑤ よりよい教育のためのしくみづくり

展 開 方 策	前年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和元年度の取組み
魅力ある学校づくりの推進	○人材発掘と確保をはかり、地域と連携した教育活動の充実に努める	○広報折込チラシによる活動の周知。 こども応援未来カフェの開催によるボランティア同士の交流促進
学校教育のしくみの工夫改善	○帯広市エリア・ファミリー構想の考え方を広く浸透させる ○小中一貫教育を推進する ○大空地区義務教育学校の開校準備作業をすすめる	○各エリアにおいて専門部会を組織。推進委員会を開催し、目指す子ども像の設定や、参加者による交流・意見交換等を行い、情報共有や学校種間の連携を強化 ○「帯広市小中一貫教育推進ガイドブック」に基づき、小中一貫教育を推進 ○大空地区義務教育学校の校名や制服の選定等の開校準備への取り組み
社会教育施設の利用の促進	○文化・スポーツ施設の利用促進をはかるため、情報発信に努める	○施設ごとの月刊予定表の掲示やインターネットによる施設予約システム、広報おびひろを通じたイベント情報の発信
地域の実情に応じた教育行政の推進	○幅広い市民や教育関係団体が参加できるよう、会場や開催方法の工夫と改善をすすめる	○教育懇談会について、会場の変更、参加しやすい懇談テーマや内容の設定